中間処理施設

別紙－1　（中間処理施設）

施設の概要

場　所　　津市一志町小山字シャレ子 837 番 18
敷地面積　　17，369.69　㎡

中間処理施設

機械の種類、取扱う産業廃棄物の種類及びその能力

施設の種類		廃棄物の種類	処理能力（時間当り）	処理能力（日）11h	施設許可
種　別	型　番				
① 破砕機	HR1000	ガラスくず等※3	35.0ｔ/ｈ	280.0ｔ/日（11ｈ）	既許可
		がれき類※4	35.0ｔ/ｈ	280.0ｔ/日（11ｈ）	既許可
② 破砕機	HMP-1400 (250kw)	木くず	12.0ｔ/ｈ	132.0ｔ/日（11ｈ）	新規
		繊維くず	3.6ｔ/ｈ	39.6ｔ/日（11ｈ）	新規
③ 圧縮機	ラージベール LBW-1810-150C 型	廃プラスチック類※1	45.5ｔ/ｈ	500.5ｔ/日（11ｈ）	不要
		紙くず	41.0ｔ/ｈ	451.0ｔ/日（11ｈ）	不要
		木くず	71.5ｔ/ｈ	786.5ｔ/日（11ｈ）	不要
		繊維くず	16.8ｔ/ｈ	184.8ｔ/日（11ｈ）	不要
		ゴムくず	67.6ｔ/ｈ	743.6ｔ/日（11ｈ）	不要
		金属くず	146.9ｔ/ｈ	1615.9ｔ/日（11ｈ）	不要
		ガラスくず等※3	130.0ｔ/ｈ	1430.0ｔ/日（11ｈ）	不要
		がれき類※4	168.6ｔ/ｈ	1854.6ｔ/日（11ｈ）	不要

注

①破砕機は既設。設置場所を屋内から屋外に移設。
※1：廃プラスチック類は水銀使用製品産業廃棄物を除く。石綿含有産業廃棄物を除く。
※2：金属くずは水銀使用製品産業廃棄物を除く。
※3：ガラスくず等はガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずるものを除く。）及び陶磁器くず。水銀使用製品産業廃棄物を除く。石綿含有産業廃棄物を除く。
※4：がれき類は石綿含有産業廃棄物を除く。
以下の書類も同じ

圧縮機のガラスくず等や混合廃棄物については圧縮可能な性状のものをフレコンバックや飛散防止フィルムで覆ってから圧縮を行います。

① 破　砕　機

がれき類破砕機

HR1000

（既　設）

別紙－2（中間処理施設）　①がれき類破砕機

構造等の計画	構造力学上の安全性	材質等　鋳鉄、鋼製　　別紙メーカー資料による。
	処理能力の算定根拠	別紙計算書による。(HR1000 処理能力計算書)
	腐食防止	錆止め、鉄部塗料塗布
	飛散、流出悪臭の発散防止	飛散：破砕作業中は散水ノズルで、保管場所は散水ホースにより散水する。 流出：散水による接触水は少ないが一旦調整池に流入しその後排水路に放流する。 悪臭：取り扱う廃棄物から悪臭の発生はない。
	騒音・振動及び粉じんの発生防止	騒音：騒音・振動が隣接への影響が少ないよう敷地中央付近に設置 振動：堅固な基礎（コンクリート厚さ 20 ㎝）上に設置する。 粉塵：散水を行う。
	汚水処理施設の概要フロー図添付	該当なし
	排ガス処理施設の概要フロー図添付	がれき類破砕機の動力がディーゼルエンジンである。
	廃棄物の受入設備	位置　別紙保管施設図のとおり 構造　廃棄物の保管場所は屋外ヤードにて保管 床面コンクリート 規模　別紙保管面積、保管量一覧表のとおり
	処理後の廃棄物等の保管施設	位置　別紙保管施設図のとおり 構造　廃棄物の保管場所は屋外ヤードにて保管 規模　別紙保管面積、保管量一覧表のとおり
	囲い等	北側、東側にフェンス等を設置（既設）
	雨水等の流入防止	敷地東側に県道側溝があります。敷地から西側の雨水は流入しません。
	搬入道路	県道一志嬉野線より搬入
	消火設備	㊒　無　（有の場合　その概要） 消火栓
	車両足洗設備	なし
	駐車設備	㊒　無　（有の場合　その概要） （施設配置図のとおり）
	管理事務所	㊒　無　（有の場合　その概要） （施設配置図のとおり）

別紙－3（中間処理施設）　　①がれき類破砕機

維持管理等の計画	作業方法	作業人数　　2人 作業時間　　8：00～19：00
	受入時の廃棄物の性状の分析・計量方法	性状の分析：　目視による性状の確認、マニフェスト確認 計量：事務所前計量機で行う。 （施設配置図のとおり）
	異常事態時の措置	異常事態時には即運転を停止し、関係機関に連絡するとともに、現場で適切な措置を講じる。 （緊急連絡網のとおり）
	飛散・流出悪臭の防止	方法　日常の清掃を励行する。適宜散水を行い、飛散流出を防止する。 回数　毎日始業前、終業時
	火災発生防止	消火栓を設置する。 （別紙　消火施設配置図のとおり）
	衛生害虫等の発生防止	発生が予測されないが、発生時には薬剤散布を行う。
	騒音・振動 粉じんの防止	騒音・振動： 日常点検、定期点検を励行する。 日常点検等により、異常音、振動等が発生した場合には一旦作業を中止し、原因を究明して、対策を講じたうえ、作業を開始する。 粉塵：強風時には作業を行わない。 必要に応じて散水を行う。
	定期的点検 機能検査	方法　メーカーによる点検、作業員による日常点検 回数　メーカー点検：2回／年　、日常点検は始業時
	点検、検査の記録及び保存	保存　　3年間保存

別紙－4（中間処理施設）　①がれき類破砕機

	その他、施設の維持管理に関する計画	
	騒音・振動	機械の日常・定期点検を励行し、作業についても注意を払うほか、敷地境界において、騒音：60ｄＢ、振動：65ｄＢを遵守します。
	飛散	必要に応じ散水する
	場内雨水排水	雨水は一旦調整池に入り、水路に放流。調整池に溜まった泥、浮遊物はそこで除去する。

許可の基準（法１５条の２）（がれき類破砕機）

１　その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画が環境省令で定める技術上の基準に適合していること。

産業廃棄物処理施設の技術上の基準（規則１２条、１２条の２第２項）

共通基準	対応
一　自重、積載荷重その他の荷重、地震力及び温度応力に対して構造耐力上安全であること。	自重、積載荷重その他の荷重、地震力及び温度応力に対して構造耐力上安全であります。
二　削除	
三　産業廃棄物、産業廃棄物の処理に伴い生ずる排ガス及び排水、施設において使用する薬剤等による腐食を防止するために必要な措置が講じられていること。	必要部分において防錆塗装し、腐食防止措置が講じられている。
四　産業廃棄物の飛散及び流出並びに悪臭の発散を防止するために必要な構造のものであり、又は必要な設備が設けられていること。	敷地中央部に設置することにより、敷地外への飛散・流出を防止する。 散水施設を設置する。 悪臭の発生施設ではありません。
五　著しい騒音及び振動を発生し、周囲の生活環境を損なわないものであること。	敷地中央部に設置することにより、騒音・振動の防止を図る。
六　施設から排水を放流する場合は、その水質を生活環境保全上の支障が生じないものとするために必要な排水処理設備が設けられていること	施設からの排水はありません。
七　産業廃棄物の受入設備及び処理された産業廃棄物の貯留設備は、施設の処理能力に応じ、十分な容量を有するものであること。	必要な保管量を確保できる保管場所を設置します。
個別基準	対応
令第七条第八号の二に掲げる施設の技術上の基準は、破砕によって生ずる粉じんの周囲への飛散を防止するために必要な集じん機、散水装置等が設けられていることとする。	散水栓から適宜散水することにより粉塵の飛散を防止する。

２　その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画及び維持管理に関する計画が当該産業廃棄物処理施設に係る周辺地域の生活環境の保全及び環境省令で定める周辺の施設について適正な配慮がなされたものであること。	維持管理基準を遵守するため、周辺地域の生活環境の保全、周辺の施設に適正な配慮を行なっている

３　申請者の能力がその産業廃棄物処理施設の設置に関する計画及び維持管理に関する計画に従って当該産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理を的確に、かつ、継続して行うに足りるものとして環境省令で定める基準に適合するものであること。	技術管理者を選任しております。
４　申請者が第十四条第五項第二号イからへまでのいずれにも該当しないこと。	該当しません。

産業廃棄物処理施設の維持管理（がれき類破砕機）

産業廃棄物処理施設の設置者は、環境省令で定める技術上の基準及び当該産業廃棄物処理施設の許可に係る第十五条第二項の申請書に記載した維持管理に関する計画（当該計画について第十五条の二の四第一項の許可を受けたときは、変更後のもの）に従い、当該産業廃棄物処理施設の維持管理をしなければならない。（法１５条の２の３）

維持管理の技術上の基準（規則１２条の６）

内容	維持管理計画
一　受け入れる産業廃棄物の種類及び量が当該施設の処理能力に見合った適正なものとなるよう、受け入れる際に、必要な当該産業廃棄物の性状の分析又は計量を行うこと。	受入には計量器により重量を確認のうえ、目視及びマニフェストで確認し、処理能力に見合った受入を行ないます。
二　施設への産業廃棄物の投入は、当該施設の処理能力を超えないように行うこと。	施設への産業廃棄物の投入は、当該施設の処理能力を超えることがないよう行ないます。
三　産業廃棄物が施設から流出する等の異常な事態が生じたときは、直ちに施設の運転を停止し、流出した産業廃棄物の回収その他の生活環境の保全上必要な措置を講ずること。	産業廃棄物が流出する等の異常事態が発生したときは直ちに運転を停止し、流出した廃棄物を速やかに回収し、生活環境の保全上必要な措置を講じます。
四　施設の正常な機能を維持するため、定期的に施設の点検及び機能検査を行うこと。	日常点検及び定期点検（年2回以上）を行います
五　産業廃棄物の飛散及び流出並びに悪臭の発生を防止するために必要な措置を講ずること。	必要に応じ散水する。 悪臭が発生する廃棄物は受け入れない。 悪臭の発生は予測されない。
六　蚊、はえ等の発生の防止に努め、構内の清潔を保持すること。	終業時に清掃を励行する。なお、蚊、はえ等の発生は予測されない。
七　著しい騒音及び振動の発生により周囲の生活環境を損なわないように必要な措置を講ずること。	敷地の中央付近で破砕を行う。 日常点検で異常のないことを確認する。
八　施設から排水を放流する場合は、その水質を生活環境保全上の支障が生じないものとするとともに、定期的に放流水の水質検査を行うこと。	施設からの排水はありません。
九　施設の維持管理に関する点検、検査その他の措置の記録を作成し、三年間保存すること。	施設の維持管理に関する点検、検査その他の措置の記録を作成し、三年間保存します。
個別基準（規則１２条の７　第９）	
破砕によって生ずる粉じんの周囲への飛散を防止するために必要な措置を講ずること	適宜散水を行い周囲への飛散を防止する。

破砕機外観(カタログ)・寸法図

HR1000

6軸ロール 2段破砕方式 ロールクラッシャ

ロール回転破砕による6軸2段破砕方式。

ベアリング付に取り付けられたカッタにより、大塊を転がりくずれに破砕します。
強力な噛み込み性と大きな破砕力でアスファルト、コンクリートなどの破砕解体
解体作業の効率化に威力を発揮します。

標準処理能力：30～70t/h

「エネルギー需給構造改革推進設備投資促進税制」適用機種
自走式建設廃棄物破砕機として税制上の優遇措置（税額控除または特別償却）が受けられます。

6軸ロール2段破砕

1段／2軸ロール、2段／4軸ロールの採用により、高い破砕効率で整った製品粒形を実現しました。カッタの取り付けをヘリカル状にして、投入ガラの噛込み性をアップしています。破砕が一度にできない場合に繰り返し破砕を行う自動反転機能付きです。夏場のアスファルトをはじめ、コンクリート擬材、コンクリート二次製品の破砕に威力を発揮します。

製品サイズ	アスファルト	コンクリート
40～0m/m	50t/h	40t/h
60～0m/m	70t/h	60t/h

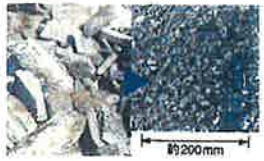
（注）1) 300mmアンダーを連続投入時。サイズアンダー中約80%。鉄筋は20mmまで対応可能。
2) 最大塊サイズ、破砕物の性状、粒度、粒度などで処理能力は変わります。
3) 自然石は破砕できません。

●アスファルトガラ

破砕前　破砕後

●コンクリートガラ

破砕前　破砕後



低騒音・低振動・低粉塵

ロールによる回転破砕方式と防音構造のホッパにより、低騒音・低振動で粉塵発生の少ない作業環境を実現しました。
散水ノズルを標準装備。

●低騒音

騒音dB(A) [周囲2m4方向エネルギー平均値]	
作業条件	HR1000
クラッシャOFF	71.0
クラッシャON 無負荷時	71.2
破砕時	73.0

●低振動

振動dB(VL) [周囲2m4方向エネルギー平均値]	
作業条件	HR1000
クラッシャOFF	59.0
クラッシャON 無負荷時	45.0
破砕時	46.0

（注）●騒音・振動は、周囲状況、地盤、風などにより変わります。
●走行振動（左右2方向）です。

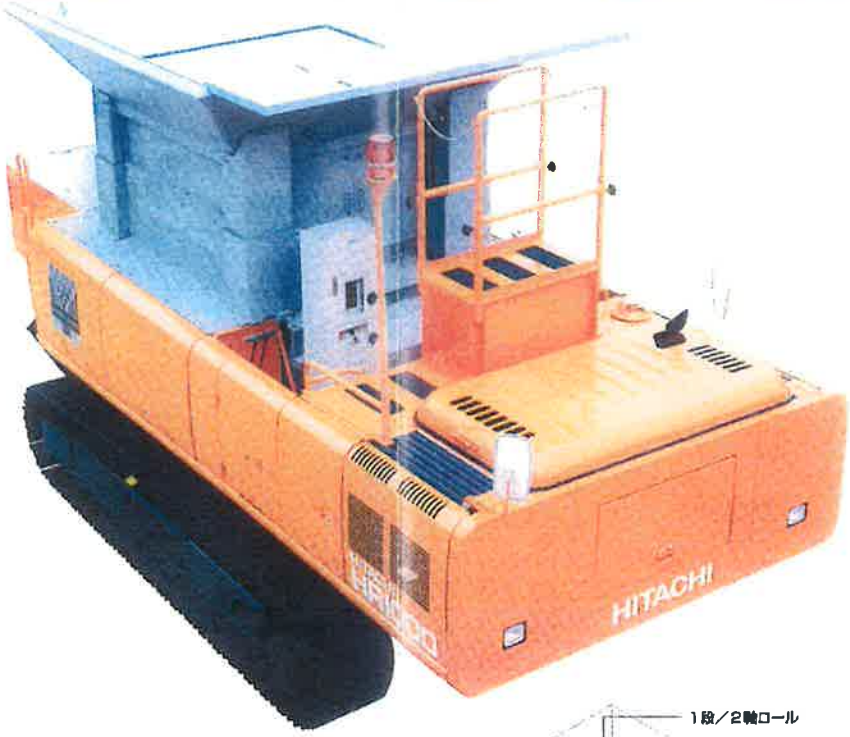
優れた耐摩耗性

ロールカッタは耐摩耗性合金鋼を使用、交換は特殊脱着ピン方式です。

投入しやすい大型ホッパ

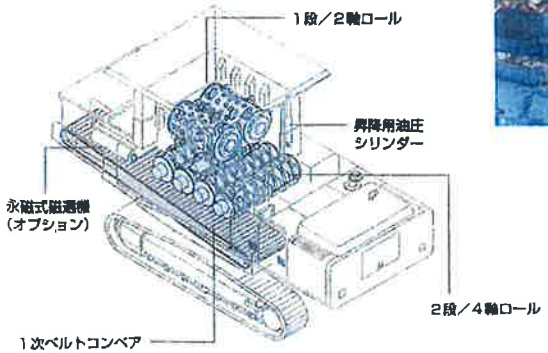
投入口の広い大容量の大型ホッパ。輸送時に便利な油圧式昇降機構を採用しています。

ホッパ投入口：2,500mm×2,500mm
ホッパ輸送時高さ：3,200mm
作業時高さ：3,600mm



操作は全油圧式

全油圧駆動による、優れた移動性と簡単な運転操作。エンジン始動はキースイッチ式。ロールクラッシャ、ベルトコンベヤ、磁選機（オプション）などの起動・停止は、ボタン操作式で簡単に行えます。走行もレバーにより軽快に操作できます。また、点検・整備も容易です。



足回りは定評のクローラタイプ

クローラタイプを搭載、不整地での機動性に威力を発揮します。

●振動スクリーン（オプション）

粒度選別用。優れた耐久性、低騒音のウレタンスクリーン採用。スクリーン網はフック式取り付けで短時間で交換できます。

●2次ベルトコンベヤ（オプション）

●磁選機（オプション）

鉄筋をコンクリートなどと選別します。

安全性を高める各種装置

●ホッパ昇降用ストッパー

●非常停止ボタン（3個所）

●走行レバーロック

●大型バックミラー（2個所）
●赤色回転灯（パトライト）
（非常停止時、各動作異常停止時および2段／4軸ロール反転時に点灯。）

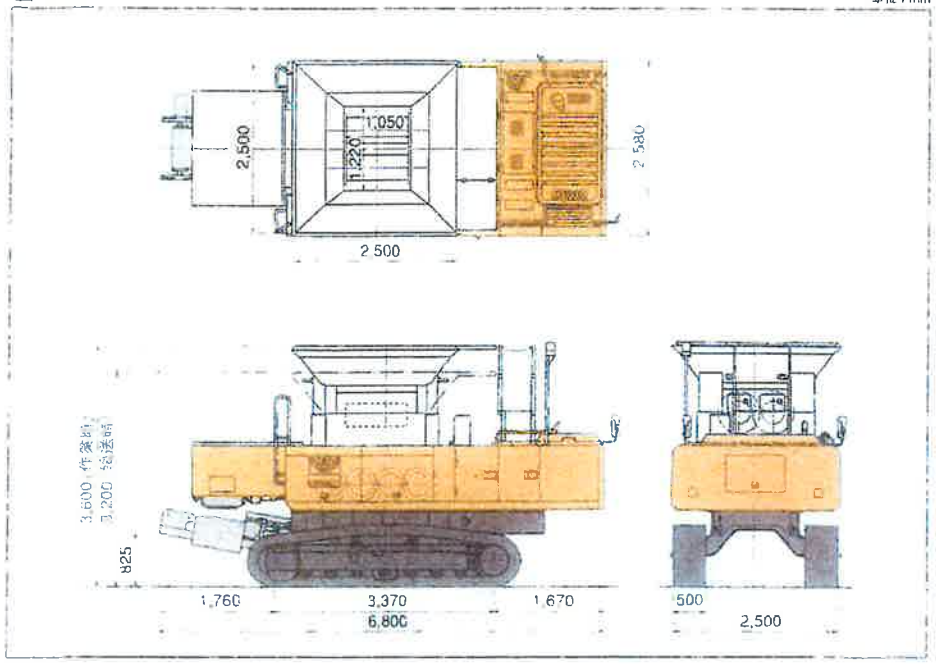
容易な粒度調整

製品の粒度調整が容易にできるロール間隔調整装置を装備しています。

破砕力に優れ、製品粒形が良く、オーバーサイズも少ない。

寸法図

単位：mm



仕様

運転質量		kg	22,200
破砕方式			ロール2段6枚 油圧
処理能力		t/h	30～70
最大供給速寸法		mm	600×400×300
走行速度		km/h	3.5
登坂能力		%（度）	70 35
名称			いすゞ・6BD1T
形式			ターボ付直接噴射式
定格出力	kW/min	PS/rpm	92/1,850 (125/1,850)
走行			油圧式
クラッシャ			油圧式
電解タンク		L	210
作動油タンク		L	195

投入口		mm	2,500×2,500
供給口		mm	1,220×1,050
タンブラ中心距離		mm	3,370

（注）●単位は国際単位系によるSI単位表示。（ ）内は、従来の単位表示を併記したものです。
●処理能力は、製品サイズ、破砕物の種類、形状および作業条件により変わります。

オプション

2次ベルトコンベヤ	油圧式
磁 選 機	永磁式
振動スクリーン	電動式

正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。

日立建機株式会社
東京都文京区後楽2-5-1 〒112-8563
販売サービス事業本部 ☎(03) 3830-8040
URL : http://www.hitachi-kenki.co.jp

●カタログに記載した内容は、予告なく変更させていただくことがあります。
●機体質量3トン以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。

●お問い合わせは…

KA-069 00.10(CD/SP,MT3)

建設廃材を現場で素早く再資源化。

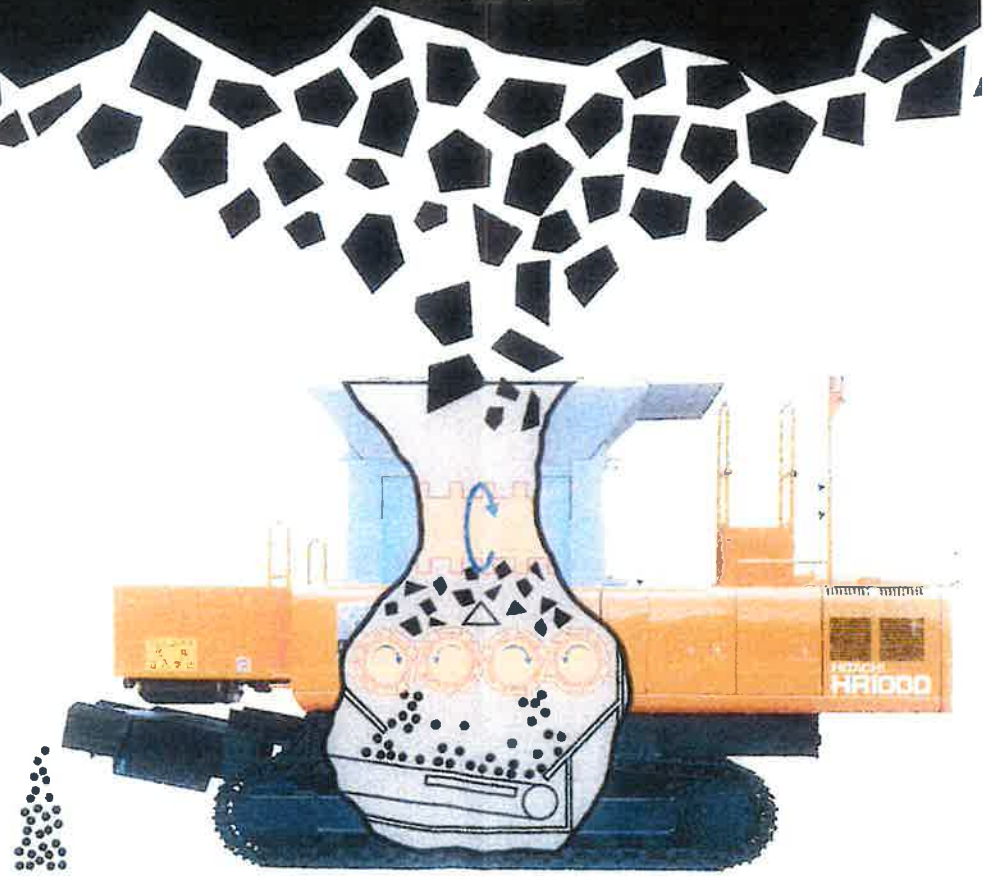
低騒音
低振動

自走式ロールクラッシャ

Landy Jaws

EXCELLENT CRUSHER

HR1000



HITACHI

日立建機HR1000

処理能力計算書

HR1000 処理能力計算書

H13年7月
日立建機株式会社
環境・地中事業部

1. 処理量の計算式

1）2次ロールの周速を計算する。

$V = (\pi \times D1 \times N + \pi \times D2 \times N)/2$　（m／min）

2）周速より処理量を計算する。

$T = 2 \times S \times L \times V \times 60 \times \eta$　（m3／h）

ここで

D1＝ 525mm　（2次ロールの歯先円直径）
D2＝ 394mm　（2次ロールのドラム直径；チップを含む）
N ＝ 7rpm　（2次ロールの回転数）
S ＝ 19. 5mm（40mmアンダー生産時の、歯先とチップの隙間）
L ＝ 1030mm（2次ロールの長さ）
η ＝ 0. 90　（処理効率）

よって

周速は

$V = (\pi \times 0.525 \times 7 + \pi \times 0.394 \times 7)/2 = 10.1$（m／min）

処理量は

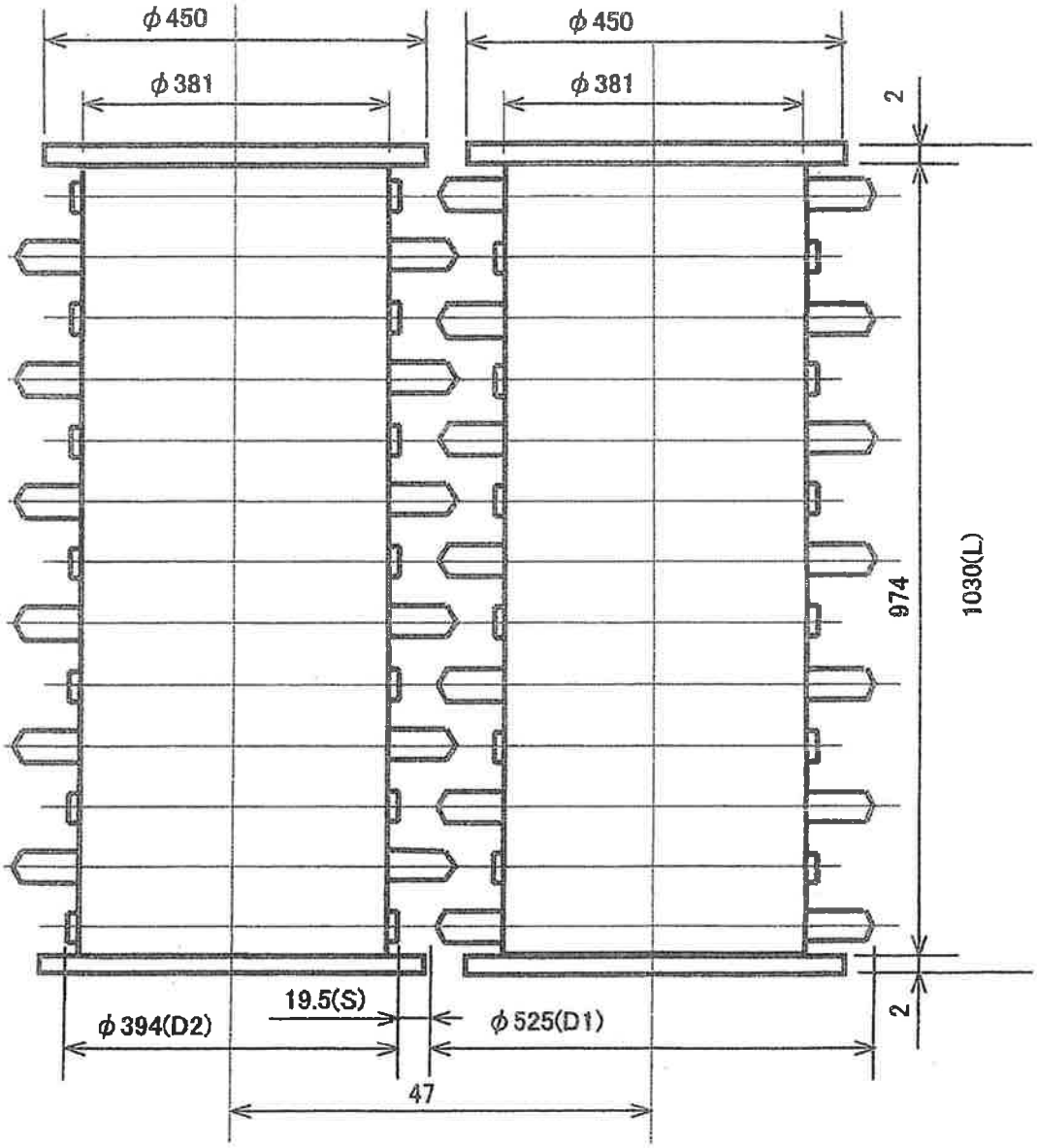
$T = 2 \times 0.0195 \times 1.030 \times 10.1 \times 60 \times 0.90 = 21.9$（m3／h）

コンクリートの みかけ比重を 1. 6 t／m3 とすると

T ＝ 21. 9（m3／h）x 1. 6（t／m3）＝ 35. 0（t／h）

＊ 縦・横・厚さ 共に300mm以下の投入物を、連続投入した場合の処理能力計算書です。

2. 2次ロール寸法図

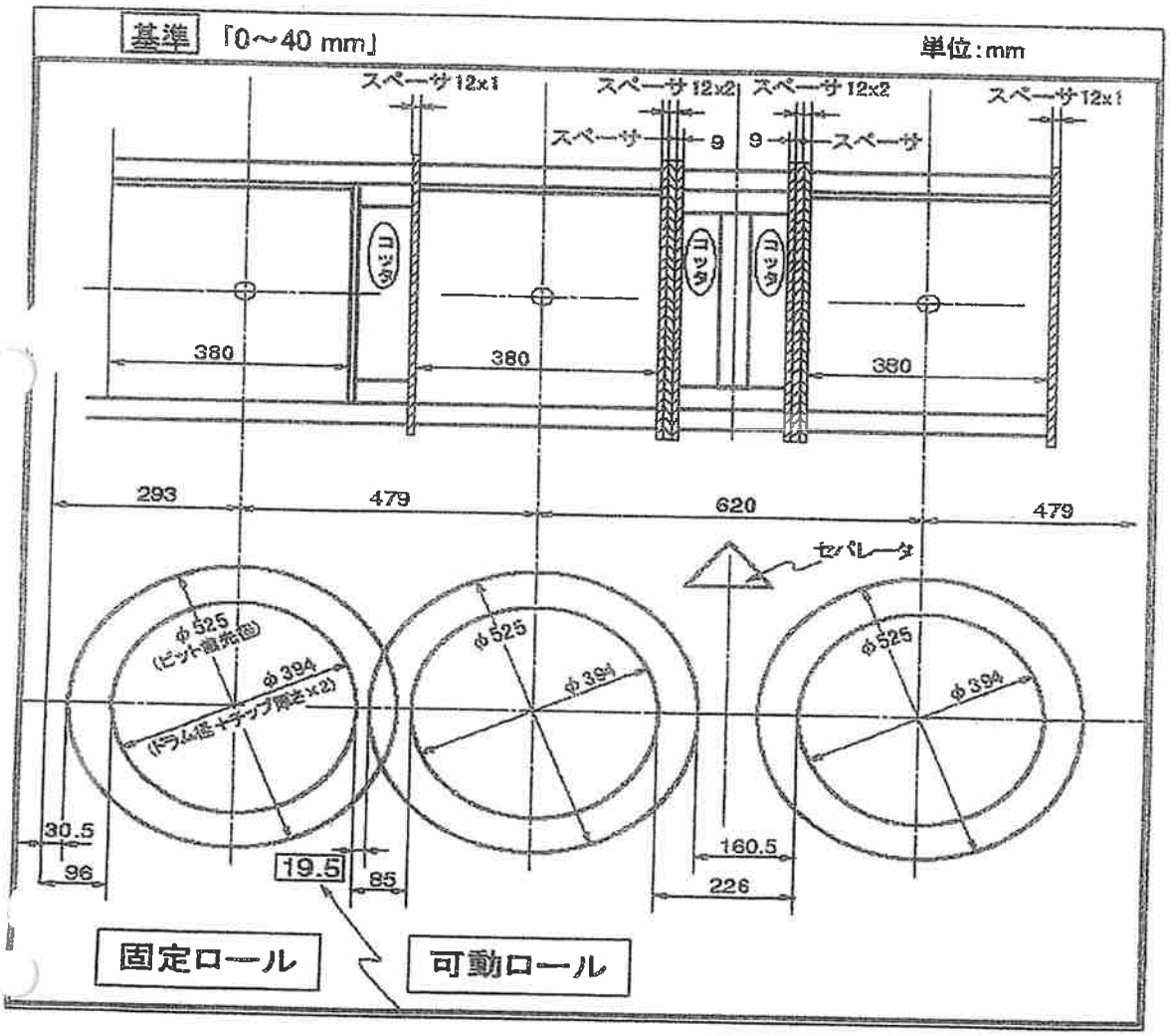


3．2次側ロールのセット調整

（スペーサ枚数／ドラムと歯先の隙間）

スペーサの種類 ： 9 mm, 12 mm

スペーサの差し換えにより製品サイズを調整します。



〔ビット歯先径－（ドラム径＋チップ厚さ×2）〕のサイズの約2倍

→39mmが製品サイズとなります。（19．5mm×2）

② 破　砕　機

木くず破砕機

HMP-1400

別紙－2（中間処理施設）　②木くず破砕機

構造等の計画	構造力学上の安全性	材質等　鋳鉄、鋼製　　別紙メーカー資料による。
	処理能力の算定根拠	別紙計算書による。(HMP-1400 能力計算書)
	腐食防止	鉄部塗料塗布
	飛散、流出悪臭の発散防止	飛散、流出：屋内作業であり扉の開閉に注意し、飛散、流出がないようにする。 悪臭：取り扱う廃棄物から悪臭の発生はない。
	騒音・振動及び粉じんの発生防止	騒音：建物内で行う 振動：堅固な基礎（コンクリート厚さ 20 cm）上に設置する。 粉塵：屋内であるが扉の開閉には注意を払う。
	汚水処理施設の概要フロー図添付	該当なし
	排ガス処理施設の概要フロー図添付	該当なし
	廃棄物の受入設備	位置　保管施設図のとおり 構造　廃棄物の保管場所は屋内ヤード及び屋外ヤード（シート掛け）にて保管 規模　別紙保管面積、保管量一覧表のとおり
	処理後の廃棄物等の保管施設	位置　別紙保管施設図のとおり 構造　屋内ヤード床面コンクリート 規模　別紙保管面積、保管量一覧表のとおり
	囲い等	西側、南側外周にフェンス等を設置（既設） （施設配置図のとおり）
	雨水等の流入防止	敷地東側に県道側溝があります。敷地から西側の雨水は流入しません。
	搬入道路	県道一志嬉野線より搬入
	消火設備	㊒　無　（有の場合　その概要） 消火栓、スプリンクラー　（消防施設配置図のとおり）
	車両足洗設備	なし
	駐車設備	㊒　無　（有の場合　その概要） （施設配置図のとおり）
	管理事務所	㊒　無　（有の場合　その概要） （施設配置図のとおり）

別紙－3（中間処理施設）　②木くず破砕機

維持管理等の計画	作業方法	作業人数　　3人 作業時間　　8：00～19：00
	受入時の廃棄物の性状の分析・計量方法	性状の分析：　目視による性状の確認、マニフェスト確認 計量：事務所前計量機で行う。 （施設配置図のとおり）
	異常事態時の措置	異常事態時には即運転を停止し、関係機関に連絡するとともに、現場で適切な措置を講じる。 （別添－緊急連絡網のとおり）
	飛散・流出悪臭の防止	方法　日常の清掃を励行することにより、飛散流出を防止する。 回数　毎日　終業時
	火災発生防止	温度センサー、火災報知器を設置する。（別紙消火設備配置図のとおり） 火気の使用を禁止。 別紙「防火対策」のとおり （とおり）
	衛生害虫等の発生防止	発生が予測されないが、発生時には薬剤散布を行う。
	騒音・振動 粉じんの防止	騒音・振動： 日常点検、定期点検を励行する。 日常点検等により、異常音、振動等が発生した場合には一旦作業を中止し、原因を究明して、対策を講じたうえ、作業を開始する。 粉塵：作業中の扉の開閉は極力しないように注意を払う。
	定期的点検 機能検査	方法　メーカーによる点検、作業員による日常点検 回数　メーカー点検：2回／年　、日常点検は始業時
	点検、検査の記録及び保存	保存　　3年間保存

別紙－4（中間処理施設）　②木くず破砕機

	その他、施設の維持管理に関する計画	
	騒音・振動	機械の日常・定期点検を励行し、作業についても注意を払うほか、敷地境界において、騒音：60ｄＢ、振動：65ｄＢを遵守します。
	飛散	日常の清掃を励行することにより、飛散流出を防止する。 作業中の扉の開閉は極力しないように注意を払う。
	場内雨水排水	雨水は一旦調整池に入り、水路に放流。調整池に溜まった泥、浮遊物はそこで除去する。

許可の基準（法１５条の２）（木くず破砕機）

１　その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画が環境省令で定める技術上の基準に適合していること。

産業廃棄物処理施設の技術上の基準（規則１２条、１２条の２第２項）

共通基準	対応
一　自重、積載荷重その他の荷重、地震力及び温度応力に対して構造耐力上安全であること。	自重、積載荷重その他の荷重、地震力及び温度応力に対して構造耐力上安全であります。
二　削除	
三　産業廃棄物、産業廃棄物の処理に伴い生ずる排ガス及び排水、施設において使用する薬剤等による腐食を防止するために必要な措置が講じられていること。	必要部分において防錆塗装し、腐食防止措置が講じられている。
四　産業廃棄物の飛散及び流出並びに悪臭の発散を防止するために必要な構造のものであり、又は必要な設備が設けられていること。	屋内作業により、飛散・流出を防止する。 悪臭の発生施設ではありません。
五　著しい騒音及び振動を発生し、周囲の生活環境を損なわないものであること。	建物内に設置することにより、騒音・振動の防止を図る。
六　施設から排水を放流する場合は、その水質を生活環境保全上の支障が生じないものとするために必要な排水処理設備が設けられていること	施設からの排水はありません。
七　産業廃棄物の受入設備及び処理された産業廃棄物の貯留設備は、施設の処理能力に応じ、十分な容量を有するものであること。	必要な保管量を確保できる保管場所を設置します。
個別基準	対応
令第七条第八号の二に掲げる施設の技術上の基準は、破砕によって生ずる粉じんの周囲への飛散を防止するために必要な集じん機、散水装置等が設けられていることとする。	屋内作業であり粉塵が敷地外へ飛散しないよう作業中は扉の開閉は極力しないようにする。

２　その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画及び維持管理に関する計画が当該産業廃棄物処理施設に係る周辺地域の生活環境の保全及び環境省令で定める周辺の施設について適正な配慮がなされたものであること。	維持管理基準を遵守するため、周辺地域の生活環境の保全、周辺の施設に適正な配慮を行なっている

３　申請者の能力がその産業廃棄物処理施設の設置に関する計画及び維持管理に関する計画に従って当該産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理を的確に、かつ、継続して行うに足りるものとして環境省令で定める基準に適合するものであること。	技術管理者を選任しております。
４　申請者が第十四条第五項第二号イからへまでのいずれにも該当しないこと。	該当しません。

許可の基準（法１５条の２）（木くず破砕機）

１　その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画が環境省令で定める技術上の基準に適合していること。

産業廃棄物処理施設の技術上の基準（規則１２条、１２条の２第２項）

共通基準	対応
一　自重、積載荷重その他の荷重、地震力及び温度応力に対して構造耐力上安全であること。	自重、積載荷重その他の荷重、地震力及び温度応力に対して構造耐力上安全であります。
二　削除	
三　産業廃棄物、産業廃棄物の処理に伴い生ずる排ガス及び排水、施設において使用する薬剤等による腐食を防止するために必要な措置が講じられていること。	必要部分において防錆塗装し、腐食防止措置が講じられている。
四　産業廃棄物の飛散及び流出並びに悪臭の発散を防止するために必要な構造のものであり、又は必要な設備が設けられていること。	屋内作業により、飛散・流出を防止する。 悪臭の発生施設ではありません。
五　著しい騒音及び振動を発生し、周囲の生活環境を損なわないものであること。	建物内に設置することにより、騒音・振動の防止を図る。
六　施設から排水を放流する場合は、その水質を生活環境保全上の支障が生じないものとするために必要な排水処理設備が設けられていること	施設からの排水はありません。
七　産業廃棄物の受入設備及び処理された産業廃棄物の貯留設備は、施設の処理能力に応じ、十分な容量を有するものであること。	必要な保管量を確保できる保管場所を設置します。
個別基準	対応
令第七条第八号の二に掲げる施設の技術上の基準は、破砕によって生ずる粉じんの周囲への飛散を防止するために必要な集じん機、散水装置等が設けられていることとする。	屋内作業であり粉塵が敷地外へ飛散しないよう作業中は扉の開閉は極力しないようにする。

２　その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画及び維持管理に関する計画が当該産業廃棄物処理施設に係る周辺地域の生活環境の保全及び環境省令で定める周辺の施設について適正な配慮がなされたものであること。	維持管理基準を遵守するため、周辺地域の生活環境の保全、周辺の施設に適正な配慮を行なっている

３　申請者の能力がその産業廃棄物処理施設の設置に関する計画及び維持管理に関する計画に従って当該産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理を的確に、かつ、継続して行うに足りるものとして環境省令で定める基準に適合するものであること。	技術管理者を選任しております。
４　申請者が第十四条第五項第二号イからへまでのいずれにも該当しないこと。	該当しません。

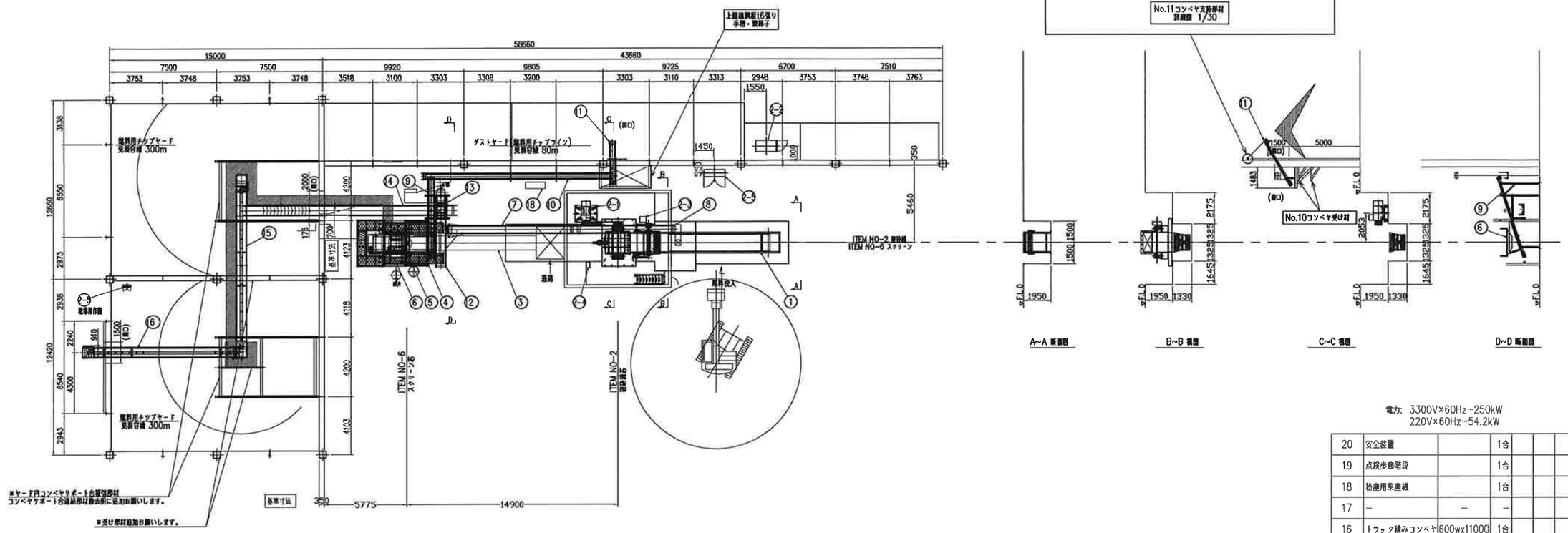
産業廃棄物処理施設の維持管理（木くず破砕機）

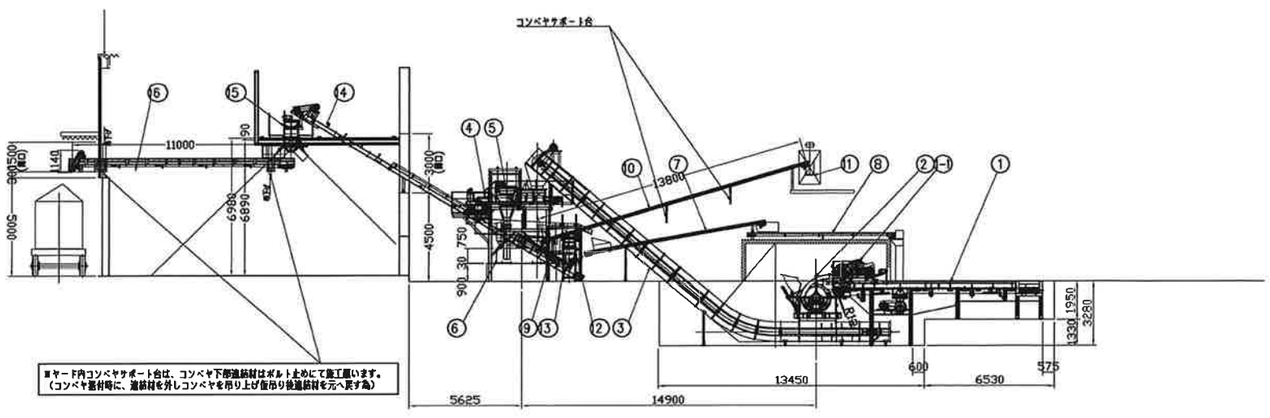
産業廃棄物処理施設の設置者は、環境省令で定める技術上の基準及び当該産業廃棄物処理施設の許可に係る第十五条第二項の申請書に記載した維持管理に関する計画（当該計画について第十五条の二の四第一項の許可を受けたときは、変更後のもの）に従い、当該産業廃棄物処理施設の維持管理をしなければならない。（法１５条の２の３）

維持管理の技術上の基準（規則１２条の６）

内容	維持管理計画
一　受け入れる産業廃棄物の種類及び量が当該施設の処理能力に見合った適正なものとなるよう、受け入れる際に、必要な当該産業廃棄物の性状の分析又は計量を行うこと。	受入には計量器により重量を確認のうえ、目視及びマニフェストで確認し、処理能力に見合った受入を行ないます。
二　施設への産業廃棄物の投入は、当該施設の処理能力を超えないように行うこと。	施設への産業廃棄物の投入は、当該施設の処理能力を超えることがないよう行ないます。
三　産業廃棄物が施設から流出する等の異常な事態が生じたときは、直ちに施設の運転を停止し、流出した産業廃棄物の回収その他の生活環境の保全上必要な措置を講ずること。	産業廃棄物が流出する等の異常事態が発生したときは直ちに運転を停止し、流出した廃棄物を速やかに回収し、生活環境の保全上必要な措置を講じます。
四　施設の正常な機能を維持するため、定期的に施設の点検及び機能検査を行うこと。	日常点検及び定期点検（年2回以上）を行います
五　産業廃棄物の飛散及び流出並びに悪臭の発生を防止するために必要な措置を講ずること。	粉塵発生防止のため必要に応じてミストを噴霧します。 悪臭が発生する廃棄物は受け入れない。 悪臭の発生は予測されない。
六　蚊、はえ等の発生の防止に努め、構内の清潔を保持すること。	終業時に清掃を励行する。なお、害虫の発生が予測される場合には適宜消毒をおこなう。
七　著しい騒音及び振動の発生により周囲の生活環境を損なわないように必要な措置を講ずること。	日常点検で異常のないことを確認する。
八　施設から排水を放流する場合は、その水質を生活環境保全上の支障が生じないものとするとともに、定期的に放流水の水質検査を行うこと。	施設からの排水はありません。
九　施設の維持管理に関する点検、検査その他の措置の記録を作成し、三年間保存すること。	施設の維持管理に関する点検、検査その他の措置の記録を作成し、三年間保存します。
個別基準（規則１２条の７　第９）	
破砕によって生ずる粉じんの周囲への飛散を防止するために必要な措置を講ずること	屋内設備であり粉塵が飛散することはありません。

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
1	2025,07,28	設計変更	高本
2	2025,08,08	設計修正	高本





電力: 3300V×60Hz…250kW
220V×60Hz…54.2kW

20	安全装置		1台				
19	点検歩廊階段		1台				
18	粉塵用集塵機		1台				風量 65m³/分 風圧3320Pa 3.7kW-4P
17	–	–	–				
16	トラック積みコンベヤ	600wx11000	1台				3.7kW-4P
15	チップヤードコンベヤ	600wx11700	1台	(切替ダンパー付き)	(正逆運転)		3.7kW-4P 0.4kW-4P ﾀﾞﾝﾊﾟｰｿﾚﾉｲﾄﾞ
14	チップヤード送りコンベヤ	600wx16500	1台	(中寄せベルト)			5.5kW-4P
13	磁選コンベヤ	500wx1125	1台				0.75kW-4P
12	チップ繊送りコンベヤ	500wx3600	1台				1.5kW-4P
11	ダストヤード送りコンベヤ2	350wx3500	1台	(中寄せベルト)			1kW(P.M)
10	ダストヤード送りコンベヤ1	350wx13800	1台				1.5kW(P.M)
9	ダスト繊送りコンベヤ	350wx5700	1台				1kW(P.M)
8	オーバーサイズリターンコンベヤ2	450wx7250	1台				1.5kW(P.M)
7	オーバーサイズリターンコンベヤ1	450wx9000	1台				1.5kW(P.M)
6	スクリーン	YS-1850型	1台				7.5kW-6P
5	磁選コンベヤ	750wx1335	1台	(マグネット長さ960)			1.5kW-4P
4	スクリーン送りコンベヤ(鶏糞混割有)	900wx4000	1台				2.2kW-4P,1.5kW-4P
3	スクリーン送りフライトコンベヤ	1000wx19800	1台				7.5kW-4P
2-5	操作制御盤	自立式	1面				現場操作盤付き
2-4	油圧ユニット	TP-20N-B3-B	1台				0.75kW
2-3	軸受潤滑ユニット	LU-100-30L	1台				0.1kW
2-2	破砕機高圧始動盤	コンドルファ方式	1台				
2-1	破砕機用モーター	全閉外扇型	1台				250kW×3300V
2	破砕機	HMP-1400	1台				
1-1	原料送り装置	PR-1400	1台	(正逆運転)			3.7kW
1	投入コンベヤ	1200wx9500	1台	(正逆運転)			3.7kW
MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORK NO. / SPARE	UNIT PRICE / WEIGHT	TOTAL / (KG)		REMARKS

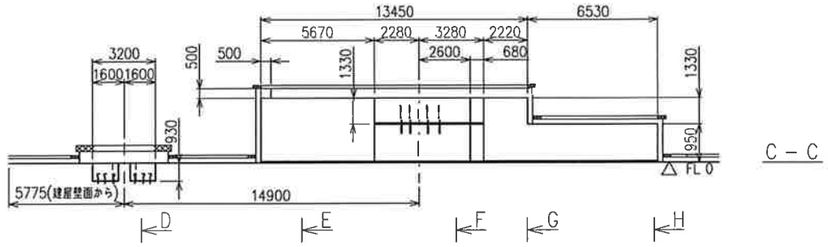
注意事項

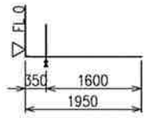
1. チップヤード関係コンベヤは別途取付形状や荷重条件等を提出いたします。
   架台につきましては貴社にて検討、実設計をお願いいたします。
2. コンベヤ吊下げ部材及び受け部材の低置使用か新規製作の判断は、建物施工者様にてお願いします。
   また、使用部材は施工者様にてご決定願います。
3. ※部追加加工につきましては、建物施工者様にてお願いします。
4. 起動盤から操作盤等迄電気配管は別途提出いたします。
5. 起動盤、操作盤の設置位置は別途提出いたします。
6. 水等込配管施工位置は基礎図をご参照ください。

APPROVED		株式会社 中間TRC 殿	
CHECKED	堀川		
DRAWN	高本	廃木材処理施設	
WORK NO.	DATE / SCALE	機械配置図	
–	2025,08,08 / 1/150		
三容エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.		DRAWING NO. WR-025030	CLASSIFICATION 00-01

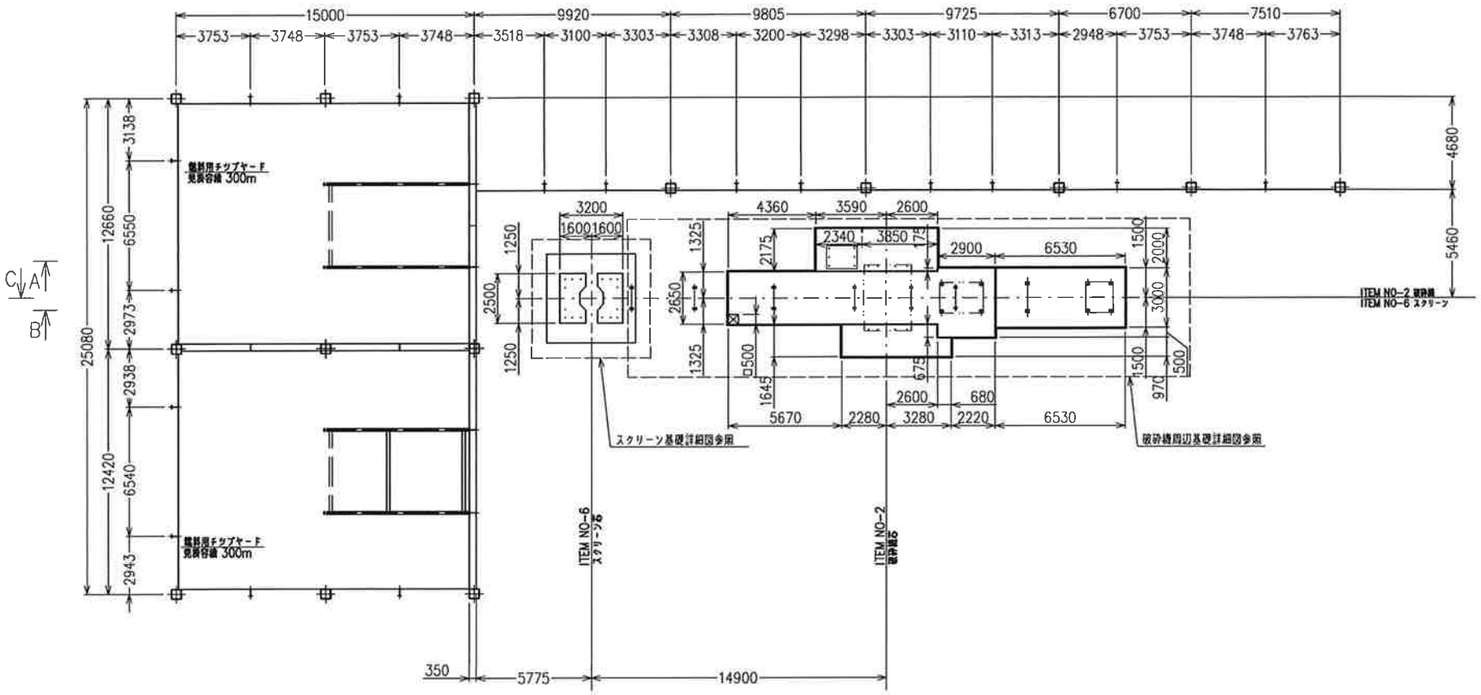
A1

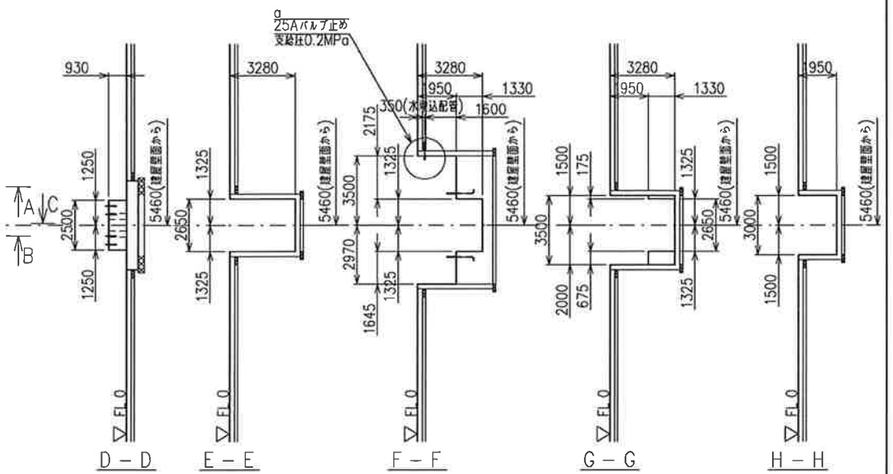
REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
1	2025.07.28	設計変更	喜本

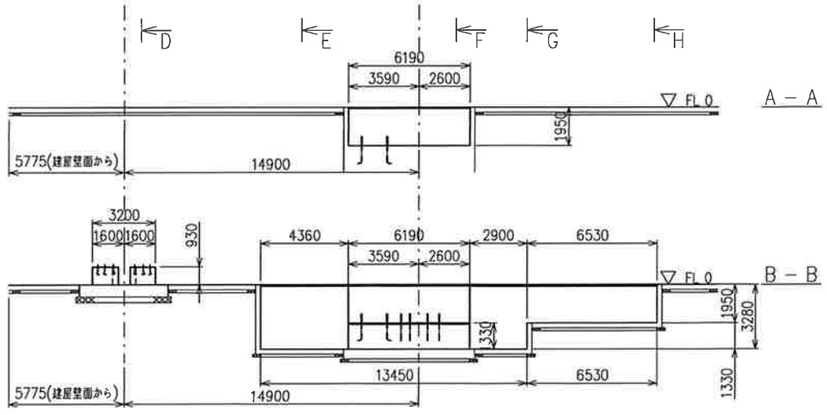




a部詳細
(S=1/50)







備考

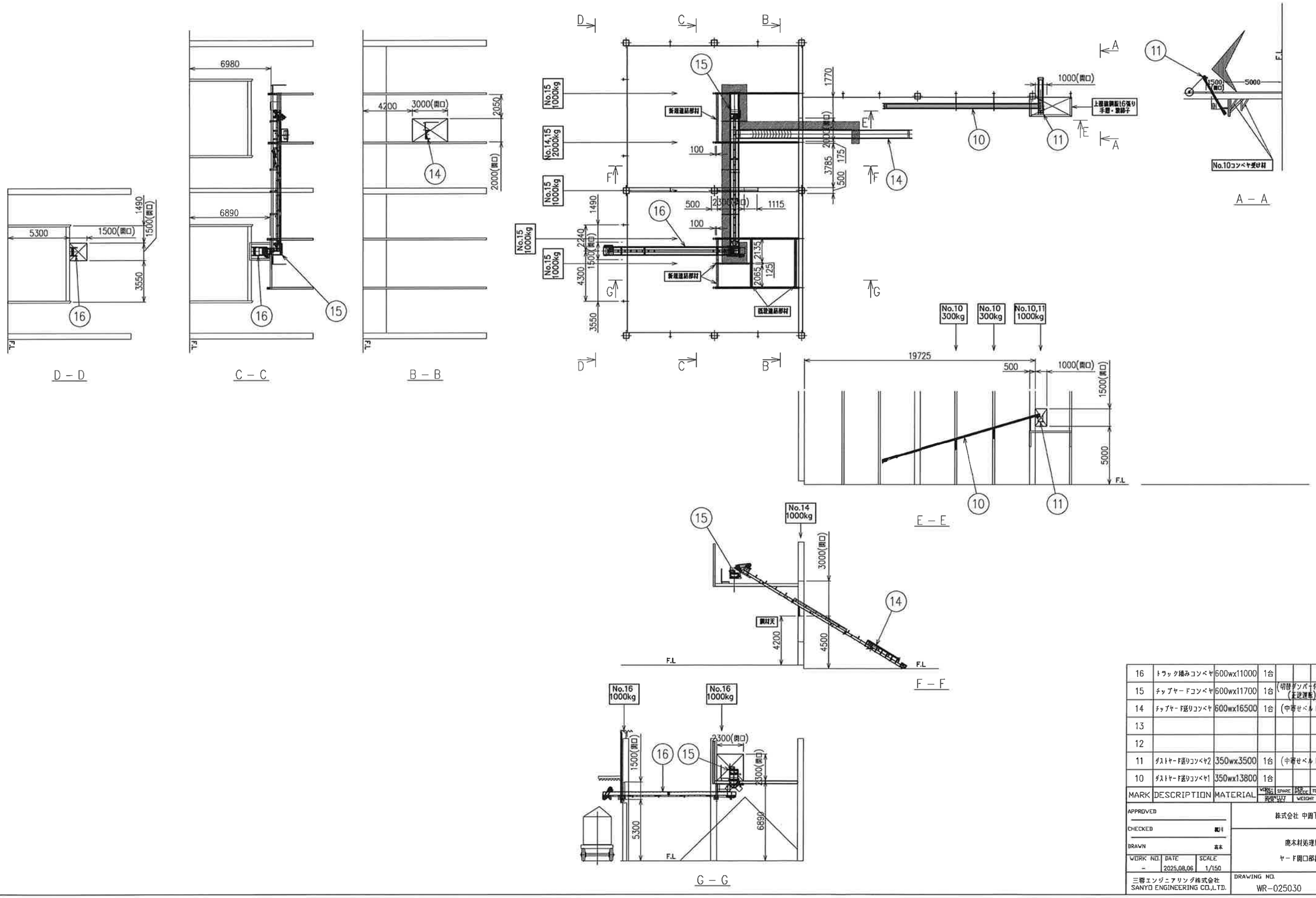
1. 本図は基礎表面形状をしめします。基礎深及び配合は荷重条件により客先にて御検討ください。
   荷重条件は別図ご参照ください。
2. コーナーアングル及びコーナーアングル用アンカーは客先にてご手配ください。
3. 埋め込みアンカーボルト及びゲージ金物は客先にてご手配ください。
   アンカーゲージ金物につきましては、図番02FC-04をご参照ください。
4. 破砕機、スクリーンのアンカーボルトは直埋め方式にて施工とします。
5. 破砕機、スクリーン以外のアンカーボルトはケミカル又はオールアンカーにて施工とします。
6. 破砕機モーター配線用埋込配管は別図ご参照ください。
7. 機械グラウト仕上げは客先にてご手配下さい。
8. 水埋込配管は25Aバルブまで施工願います。
9. スクリーン及び破砕機基礎詳細図は別図ご参照ください。

MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	VOLUME	SPARE	PER UNIT	PER PLOC	TOTAL WEIGHT (KGS)	REMARKS

APPROVED	株式会社 中国TRC 殿
CHECKED 岡	廃木材処理施設
DRAWN 喜本	機械基礎図
WORK NO. – / DATE 2025.07.28 / SCALE 1/50(1/50,1/10)	
三容エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.	DRAWING NO. WR-025030 / CLASSIFICATION 00-01A

A3

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
1	-	-	-

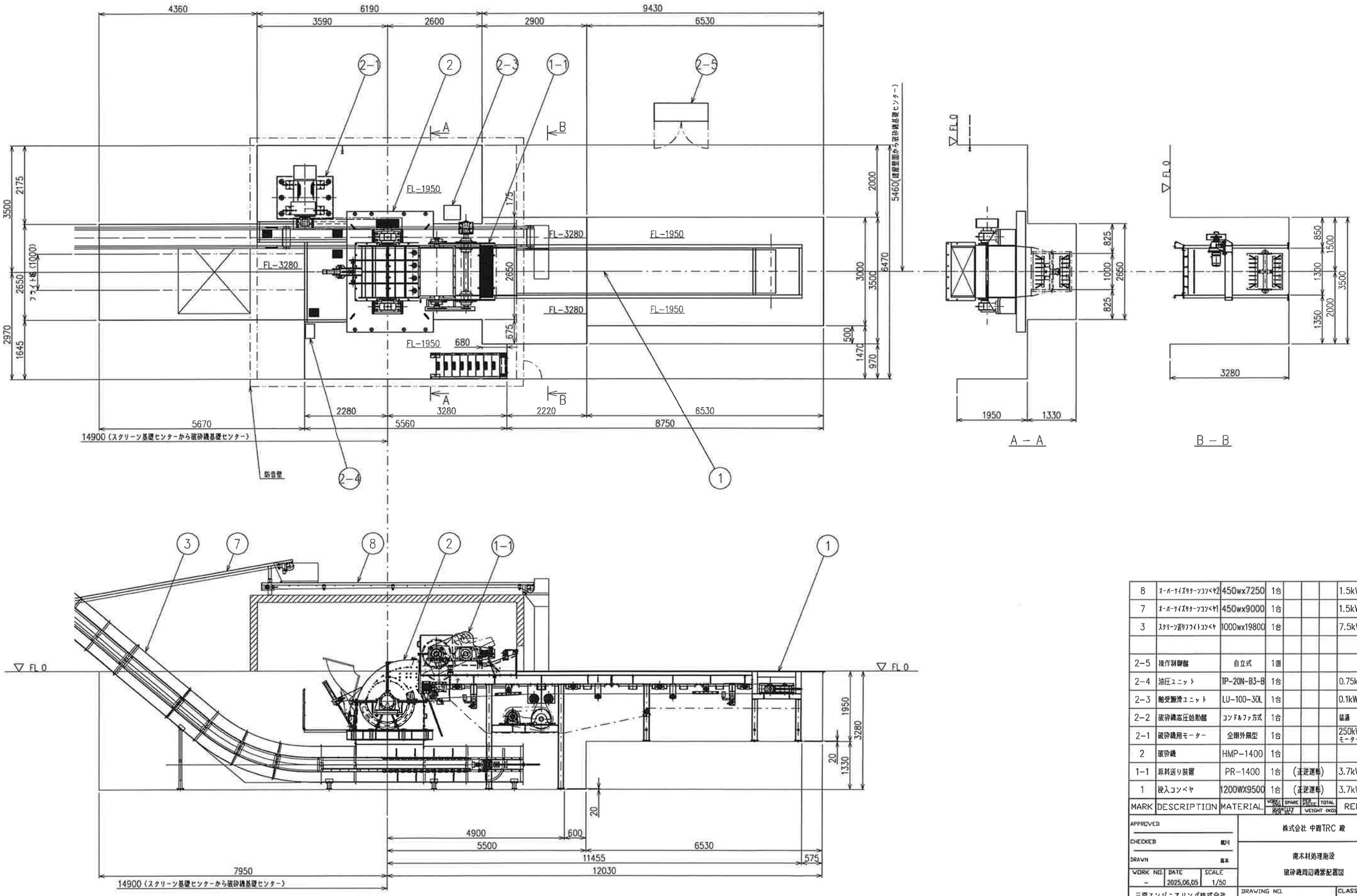


MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORK-ING	SPARE	PER PIECE	TOTAL	REMARKS
16	トラック積みコンベヤ	600wx11000	1台				3.7kW-4P
15	チップヤードコンベヤ	600wx11700	1台	(切替ダンパー付き)(正逆運転)			3.7kW-4P 0.4kW-4P ｻﾎﾞﾚﾊﾞｰｼｮﾝﾀﾞﾝﾊﾟｰ
14	チップヤード送りコンベヤ	600wx16500	1台	(中寄せベルト)			5.5kW-4P
13							
12							
11	ダストヤード送りコンベヤ2	350wx3500	1台	(中寄せベルト)			1kW(P.M)
10	ダストヤード送りコンベヤ1	350wx13800	1台				1.5kW(P.M)

APPROVED	株式会社 中間TRC 殿
CHECKED 鄭川	廃木材処理施設
DRAWN 高木	ヤード開口部指示図
WORK NO. - / DATE 2025.08.06 / SCALE 1/150	
三蓉エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.	DRAWING NO. WR-025030 / CLASSIFICATION 00-01B

A1

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
△1	-	-	-

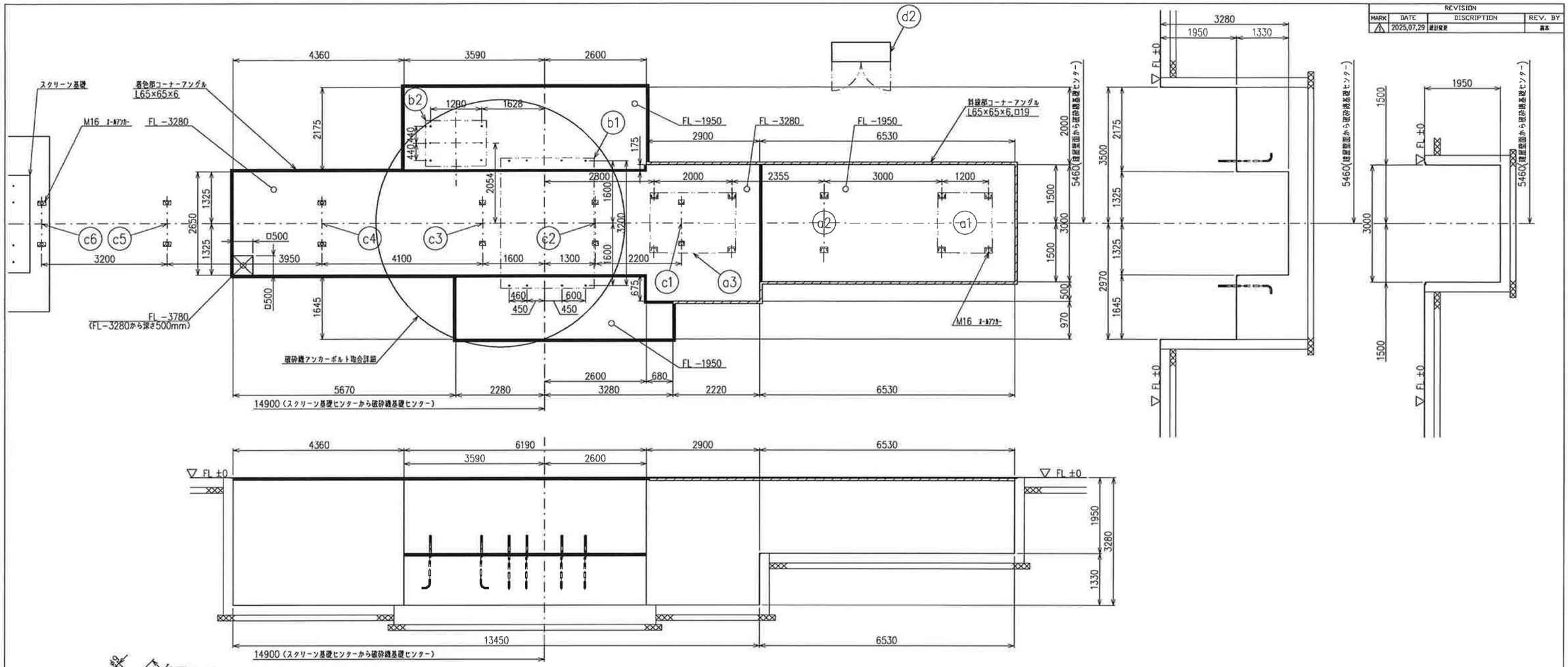


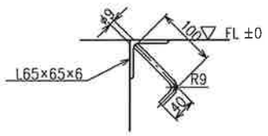
MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORK-ING QUANTITY PER SET	SPARE	PER PIECE	TOTAL WEIGHT (KG)	REMARKS
8	オーバーサイズリターンコンベヤ2	450wx7250	1台				1.5kW(P.M)
7	オーバーサイズリターンコンベヤ1	450wx9000	1台				1.5kW(P.M)
3	スクリーン送りフライトコンベヤ	1000wx19800	1台				7.5kW
2-5	操作制御盤	自立式	1面				
2-4	油圧ユニット	TP-20N-B3-B	1台				0.75kW
2-3	軸受潤滑ユニット	LU-100-30L	1台				0.1kW
2-2	破砕機高圧始動盤	コンドルファ方式	1台				協議
2-1	破砕機用モーター	全閉外扇型	1台				250kW×3300V モーター容量協議中
2	破砕機	HMP-1400	1台				
1-1	原料送り装置	PR-1400	1台	(正逆運転)			3.7kW
1	投入コンベヤ	1200WX9500	1台	(正逆運転)			3.7kW

APPROVED		株式会社 中間TRC 殿
CHECKED	梶川	廃木材処理施設
DRAWN	高木	破砕機周辺機器配置図
WORK NO. -	DATE 2025.06.05	SCALE 1/50
三容エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.	DRAWING NO. WR-025030	CLASSIFICATION 00-02

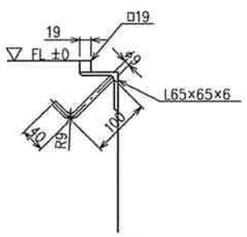
A1

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
1	2025,07,29	建計変更	高木

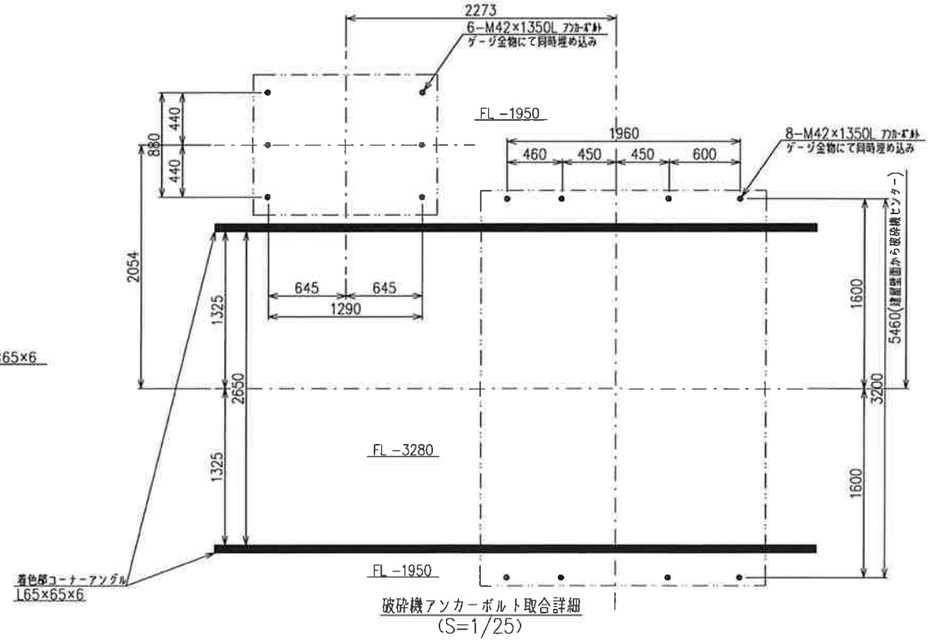




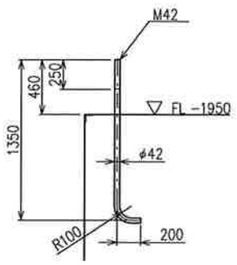
着色部コーナーアングル詳細
(S=1/5)



斜線部コーナーアングル詳細
(S=1/5)



破砕機アンカーボルト取合詳細
(S=1/25)



破砕機アンカーボルト詳細
(S=1/25)

符号	機器名	荷重条件	荷重	備考
a1	投入コンベヤテール部	垂直荷重	4.5T	−
a2	投入コンベヤ	垂直荷重	1.5T	−
a3	投入コンベヤ、原料送り装置	垂直荷重	8.5T	−
b1	破砕機本体	垂直荷重（動荷重）	15T(45T)	水平荷重3T 振動有り
b2	破砕機モーター	垂直荷重（水平荷重）	3.5T(3.0T)	振動有り
c1	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
c2	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
c3	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
c4	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
c5	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
c6	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
d1	破砕機高圧始動盤	垂直荷重	1.5T	
d2	操作制御盤	垂直荷重	0.5T	

備考

1. 本図は基礎表面形状をしめします。基礎厚及び配金は荷重条件により客先にて御検討ください。
2. コーナーアングル及びコーナーアングル用アンカーは客先にてご手配ください。
3. 埋め込みアンカーボルト及びゲージ全物は客先にてご手配ください。
4. 破砕機、スクリーンのアンカーボルトは直埋め方式にて施工とします。
5. 破砕機、スクリーン以外のアンカーボルトはケミカル又はオールアンカーにて施工とします。
6. 破砕機モーター配線用埋込パイプは別図参照ください。
7. 機械グラウト仕上げは客先にてご手配下さい。

MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORKING	SPARE	PER PIECE	TOTAL	REMARKS
			RAINFLUT		WEIGHT (KG)		

APPROVED
CHECKED 鶴川
DRAWN 高木

株式会社 中間TRC 殿

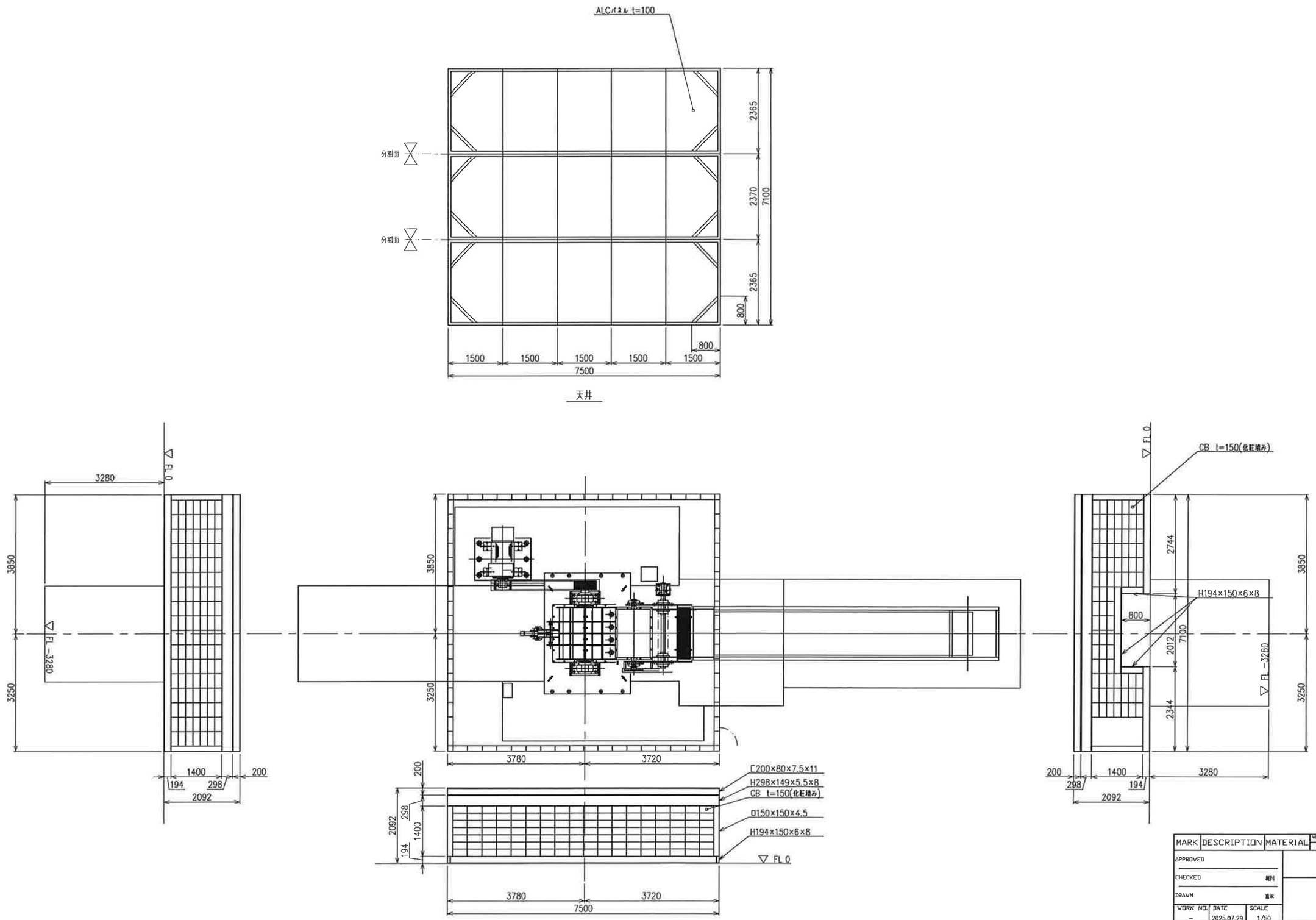
鹿木材処理施設
破砕機周辺機器基礎詳細図

WORK NO.	DATE	SCALE
−	2025,07,29	1/50(1/25,1/5)

三容エンジニアリング株式会社
SANYO ENGINEERING CO.,LTD.

DRAWING NO. WR−025030
CLASSIFICATION 00−02A

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
1	-	-	-

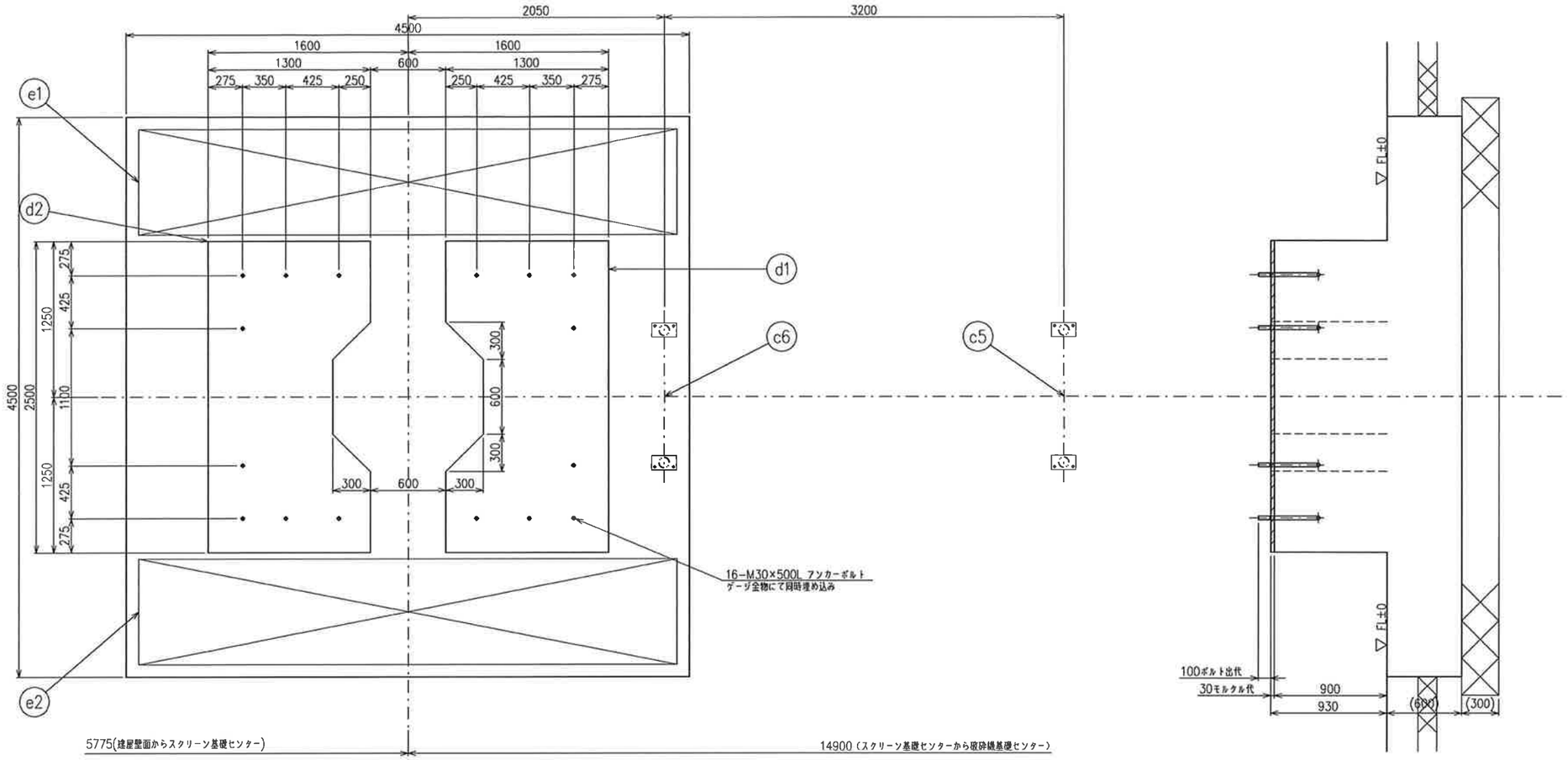


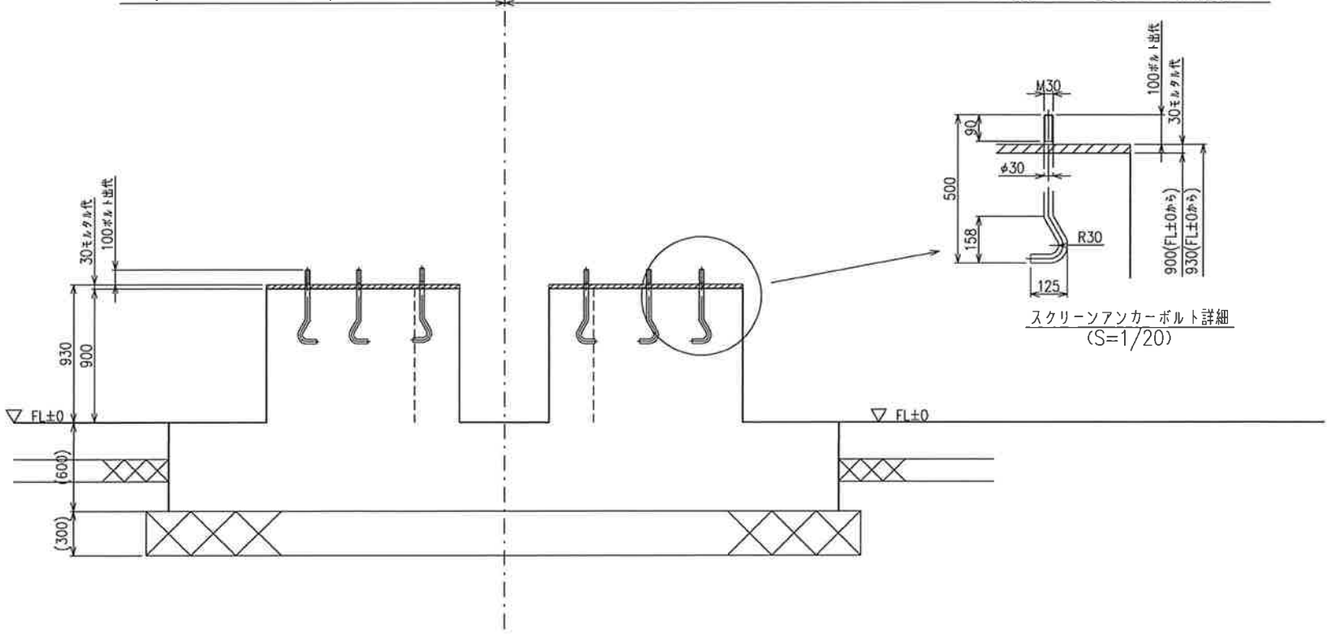
MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORKING	SPARE	PER PIECE	TOTAL	REMARKS
			QUANTITY PER SET		WEIGHT (KG)		

APPROVED	株式会社 中間TRC 殿
CHECKED 親川	HMP-1400
DRAWN 高木	防音壁参考図
WORK NO. - / DATE 2025.07.29 / SCALE 1/50	
三香エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.	DRAWING NO. WR-025030 / CLASSIFICATION 00-02B

A1

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
1	2025,07,29	諸数変更	高本





スクリーンアンカーボルト詳細
(S=1/20)

基礎工事に関する注意事項

1. 図示中の▨印の部分はモルタル代を示す。モルタル代は機械据付完了後、基礎工事施工者にて施工のこと。
2. 鉄筋はD13～D16を使用し充分なる強度を持たせること。
3. 地質が軟弱な場合は、松生杭かコンクリートパイルを打ち充分なる強度を持たせること。
4. ボルト直接埋設の場合は、基礎完了後にネジ部を水洗い等により洗浄すること。
5. コンクリートはFC210kg/cm@以上使用のこと。
6. ボルト埋設位置の寸法精度は、±5mmで施工のこと。
7. 基礎ボルト埋め込み及び修正は、基礎工事施工者とする。
8. 機械芯出し用センター墨を基礎上に入れること。
9. 基礎ボルト　M30X500L.....16 本

符号	機器名	荷重条件	荷重	備考
c5	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
c6	スクリーン送り フライトコンベヤ	垂直荷重	2.5T	
d1	スクリーン	垂直荷重（動荷重）	3.75T(18.75T)	
d2	スクリーン	垂直荷重（動荷重）	3.75T(18.75T)	
e1	スクリーン周辺コンベヤ	垂直荷重	3.0T	
e2	スクリーン周辺コンベヤ	垂直荷重	3.0T	

備考

1. 本図は基礎表面形状をしめします。基礎厚及び配金は荷重条件により客先にて御検討ください。
2. 埋め込みアンカーボルト及びゲージ金物は客先にてご手配ください。
3. 破砕機、スクリーンのアンカーボルトは直埋め方式にて施工とします。
4. 破砕機、スクリーン以外のアンカーボルトはケミカル又はオールアンカーにて施工とします。
5. 機械グラウト仕上げは客先にてご手配下さい。

MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORKING	SPARE	PER PIECE	TOTAL	REMARKS
			QUANTITY		WEIGHT (KGS)		

APPROVED
CHECKED 岡川
DRAWN 高本

株式会社 中間TRC 殿

廃木材処理施設
スクリーン周辺基礎詳細図

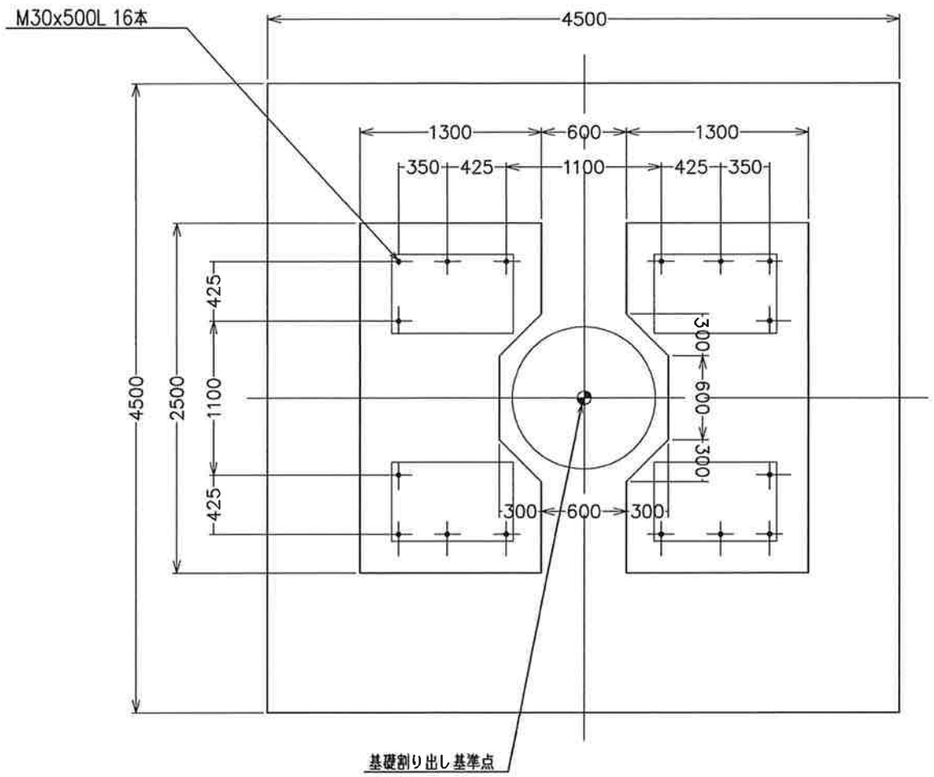
WORK NO.	DATE	SCALE
-	2025,07,29	1/20(1/10)

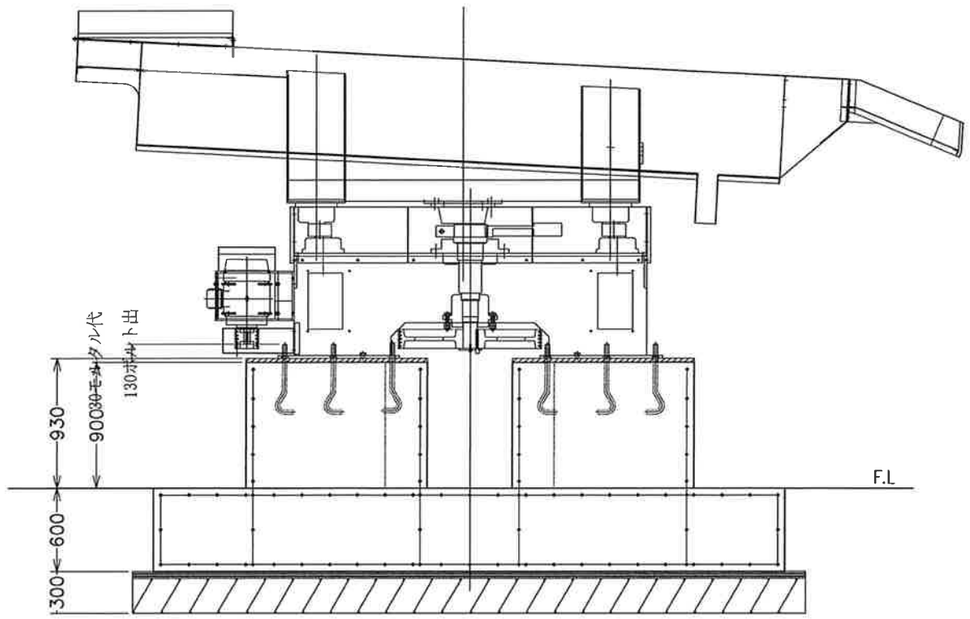
三容エンジニアリング株式会社
SANYO ENGINEERING CO.,LTD.

DRAWING NO. WR-025030
CLASSIFICATION 00-03A 1

A1

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
△1	−	−	−





基礎工事に関する注意事項

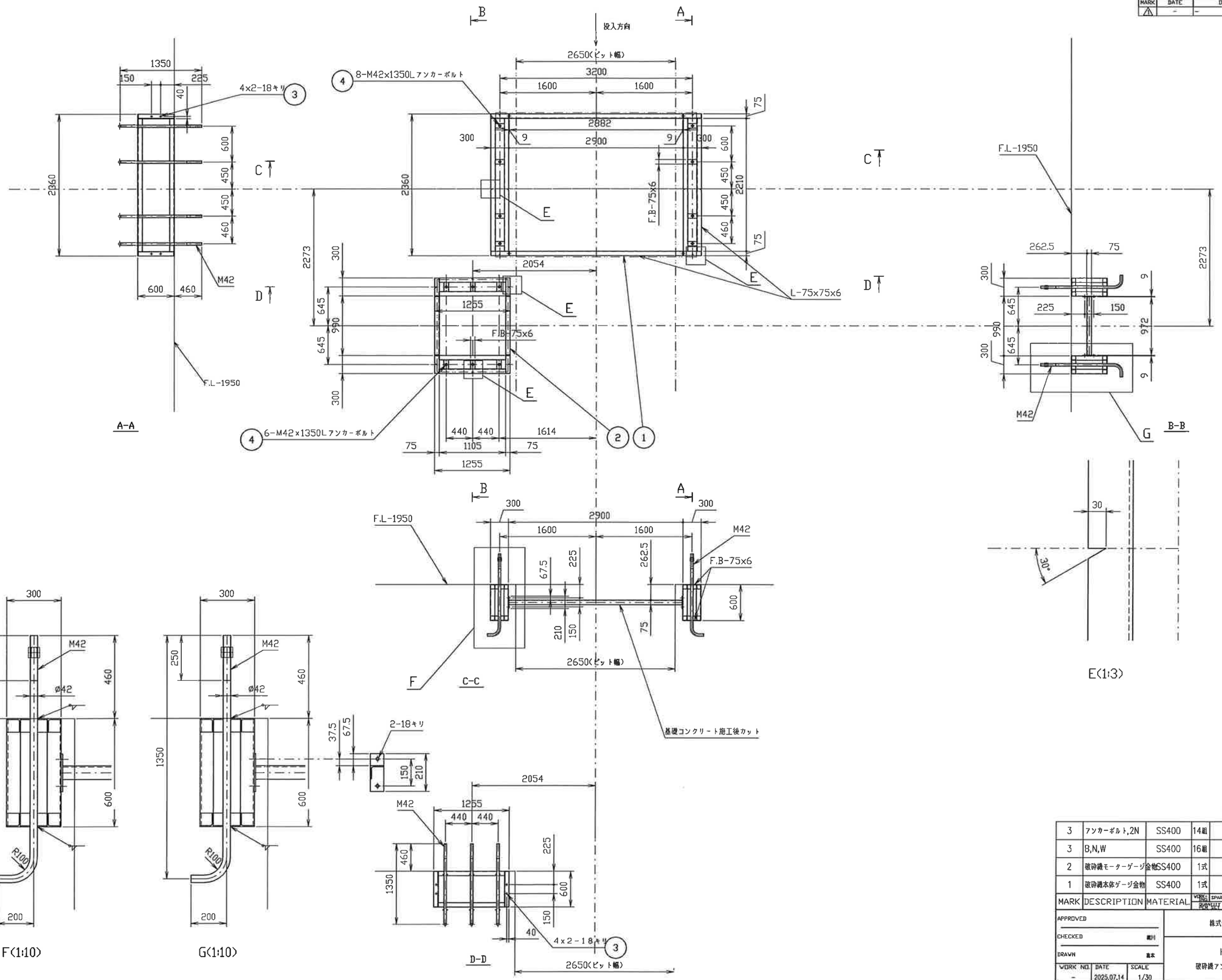
1．図示中の▨中の部分はモルタル代を示す。
モルタル代は機械据付完了後、基礎工事施工者にて施工のこと。
2．鉄筋はD13～D16を使用し充分なる強度を持たせること。
3．地質が軟弱な場合は、松生杭かコンクリートパイルを打ち充分なる強度を持たせること。
4．ボルト直接埋設の場合は、基礎完了後にネジ部を水洗い等により洗浄すること。
5．コンクリートはFC210kg／cm²以上使用のこと。
6．ボルト埋設位置の寸法精度は、±5mmで施工のこと。
7．基礎ボルト埋め込み及び修正は、基礎工事施工者とする。
8．機械荷重　7500kg
動荷重　37500kg
9．基礎ボルト　M30X500L.....16 本
10．機械芯出し用センター墨を基礎上に入れること。

MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORKING	SPARE	PER PIECE	TOTAL	REMARKS
			QUANTITY PER SET		WEIGHT (KG)		

APPROVED		株式会社 中国TRC 殿
CHECKED	梶川	
DRAWN	高本	廃木材処理施設
		スクリーン基礎詳細図
WORK NO. −	DATE 2025,06,10	SCALE 1/30
三容エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.	DRAWING NO. WR−025030	CLASSIFICATION 00−03B

A2

REVISION			
MARK	DATE	DISCRIPTION	REV. BY
△1	-	-	-



TW=384kg

MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WORK QUANTITY	SPARE QUANTITY	UNIT WEIGHT (KG)	TOTAL WEIGHT (KG)	REMARKS
3	アンカーボルト,2N	SS400	14組				M42×1350L
3	B,N,W	SS400	16組				M16×35L
2	破砕機モーターゲージ金物	SS400	1式			141	
1	破砕機本体ゲージ金物	SS400	1式			243	

APPROVED	株式会社 中間TRC 殿
CHECKED 堀川	HMP-1400
DRAWN 喜本	破砕機アンカーゲージ金物参考図
WORK NO. - / DATE 2025.07.14 / SCALE 1/30	
三容エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.	DRAWING NO. WR-025030 / CLASSIFICATION 02FC-04

A1

株式会社 中間 TRC　殿

HMP－1400 型（250ｋｗ）

廃木材破砕機 処理能力の計算

令和 7 年 5 月 30 日

三蓉エンジニアリング株式会社

承　認	調　査	担　当
		梶川

HMP－1400型（250ｋｗ）　破砕機

機　械　仕　様

型　　式	水平投入下部排出ハンマーミル
名　　称	HMP－1400型（250ｋｗ）
投　入　口	650mm×1344mm
回　転　数	893 min^{-1}
ロ　ー　タ　ー	基板　SS400　　溶接・機械加工仕上 ローター厚　＝　34mm（両サイドローターは28mm） ローター枚数　＝　8枚
ハ　ン　マ　ー	耐摩耗両刃型 装着数　＝　28本　　回転径　＝　φ1208mm
ス　ク　リーン	7分割挿入引き出し架装式ロストルスタイル スクリーンサイズ　＝　約65×平均52mm
伝　　導	Vベルト駆動 本　体　側　＝　8V×8本掛×φ630 モーター側　＝　8V×8本掛×φ475
軸　　受	自動調芯コロ軸受　　＃23238C3
オイルシール	TB220－260－22
軸　受　給　油	循環給油方式
扉　開　閉	油圧シリンダーによる 油圧シリンダー　　140H8R－71TC80C140N－550－A0
動　　力	250ｋｗ　×　6P　　全閉外扇型 回転速度　＝　1185min^{-1} 始動方式　＝　コンドルファースターターによる

設　計　条　件

1. 機　　種　　ハンマーミル型　破砕機

2. 型　　式　　HMP－1400 型（250ｋｗ）

3. 処　理　物　　廃木材

4. 機　械　仕　様

ハンマー刃先径	φ1208 mm
機　械　巾	1344 mm
回　転　数	893 min^{-1}
ハンマー数	28 本
ロストルスクリーンサイズ	約 65×平均 52 ｍｍ
動　　力	250 ｋｗ

5. ハンマー打撃面積

ハンマーの打撃部　長さ	0.106 ｍｍ
ハンマーの打撃巾	0.04 ｍｍ
打　撃　面　積	0.106×0.04 ＝ 0.00424 ㎡
打　撃　効　率	0.533

6. ハンマー周速

$$V = \frac{\pi D N}{60} = \frac{\pi \times 1.208 \times 893}{60} = 56.454\text{m／S}$$

V ＝ ハンマー周速　m／S

D ＝ ハンマー回転径　1.208m

N ＝ 回転数　893 min^{-1}

7.　廃木材破砕チップ　粒度分布

	第１回	第２回	第３回	合　計	百分率
㎜38　ｏｖｅｒ	0.28ｋｇ	0.23ｋｇ	0.63ｋｇ	1.14ｋｇ	9.8%
38　－ 30	0.24	0.3	0.38	0.92	7.9
30　－ 20	0.48	0.43	0.9	1.81	15.5
20　－ 10	0.53	0.83	1.3	2.66	22.8
10　－ 5	0.83	0.78	1.3	2.91	24.9
5　－ 3	0.3	0.28	0.43	1.01	8.7
3　－ 1	0.15	0.18	0.28	0.61	5.2
ａｕｎｄｅｒ	0.13	0.18	0.3	0.61	5.2
	2.94 ｋｇ	3.21 ｋｇ	5.52 ｋｇ	11.67 ｋｇ	100%

粒度別　製品寸法

	長　さ	幅	厚
㎜38　ｏｖｅｒ	90 ～140 ℓ	15 ～ 25 W	6 ～ 13 H
30　－ 20	50 ～ 80 ℓ	10 ～ 19 W	5 ～ 19 H
20　－ 10	30 ～100 ℓ	5 ～ 10 W	4 ～ 8 H
10　－ 5	20 ～ 70 ℓ	5 ～ 9 W	1 ～ 3 H
5 － 3	13 ～ 30 ℓ	1.5 ～ 3 W	2 H
3 － 1	3 ～ 10 ℓ	1 ～ 1.5W	1.5 H

8. 処理能力計算

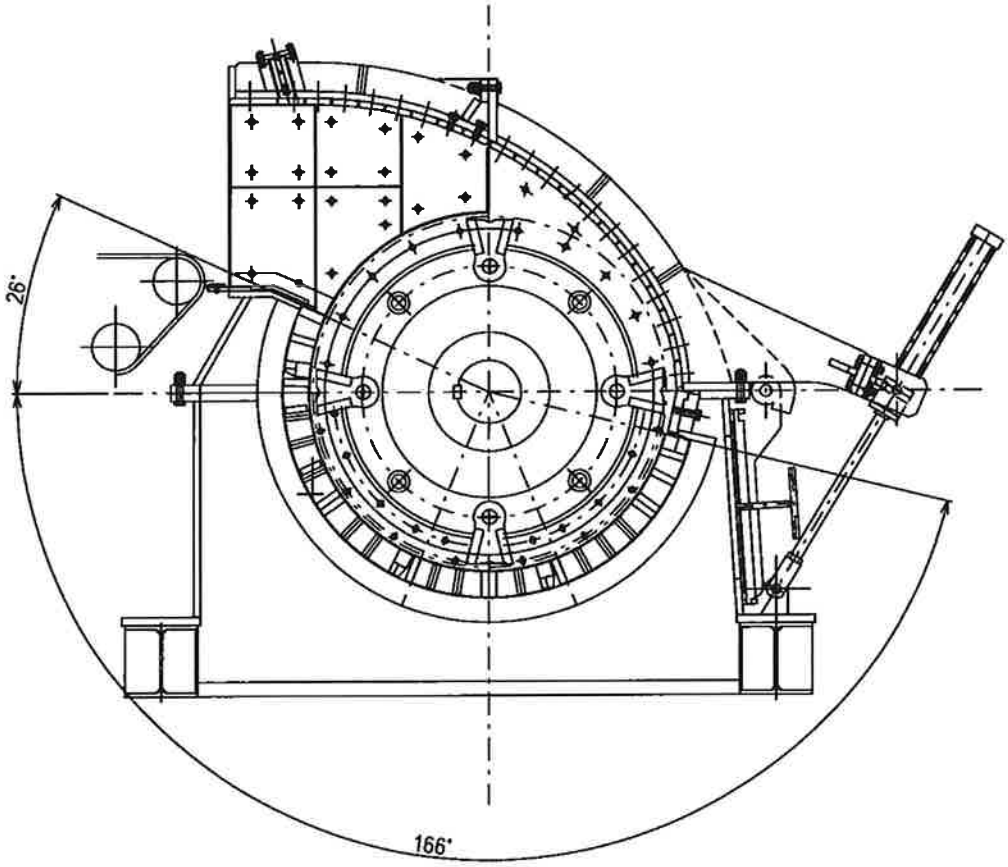
計算式　Q ＝ W×L×N×V× i ×K ×T ×δ

Q	＝	処　理　量	kg／H
W	＝	ハンマー刃先巾	0.04 m
L	＝	ハンマー破砕部　長さ	0.106　m
N	＝	ハンマー本数	28 本
V	＝	ハンマー周速	56.454m／S
i	＝	ハンマー打撃効率（添付図参照）	0.533
K	＝	破砕系数（経験値）	0.0017
		（破砕機駆動モーター　＝　250kw時）	
T	＝		3600 秒
δ	＝	廃木材見掛比重	550kg／㎥

Q ＝ 0.04m×0.106m×28 本×56.454m/S ×0.533×0.0017×3600S ×550kg/㎥

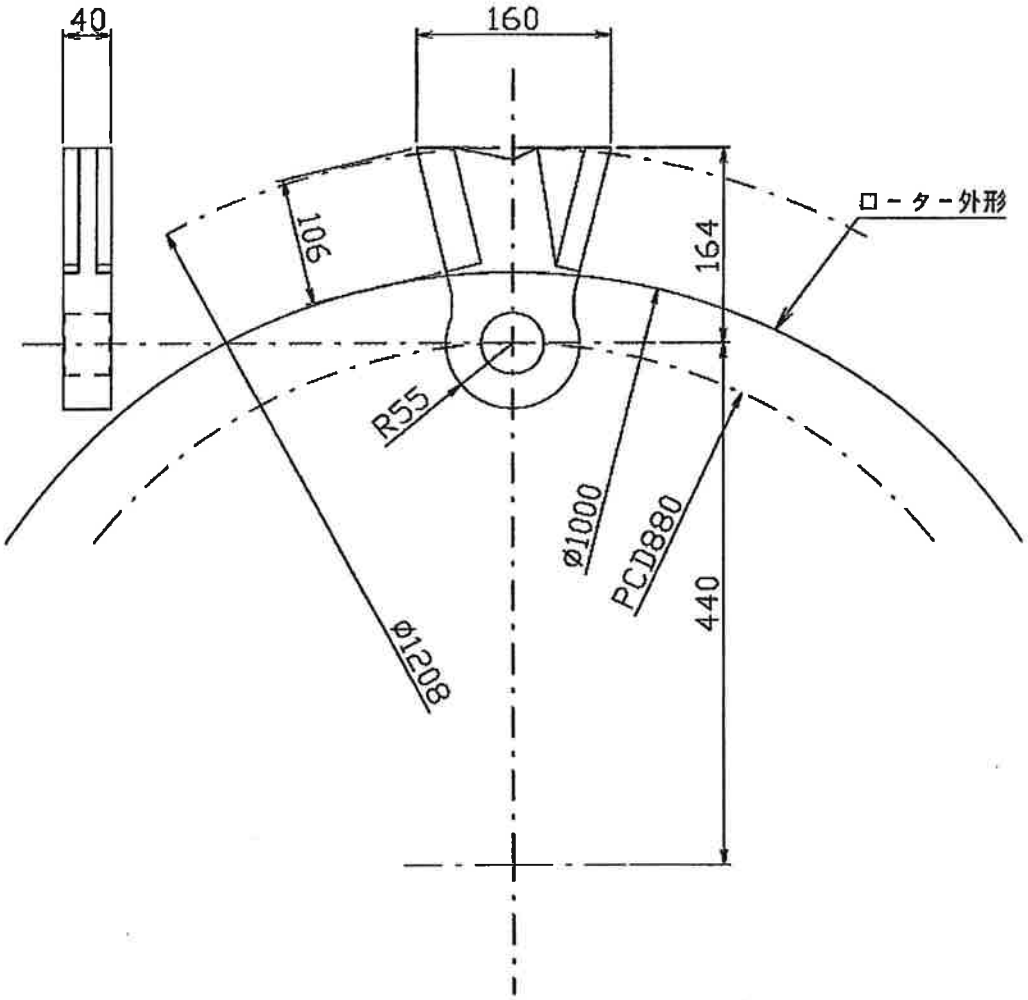
＝ 12024 kg/H ＝ 12.024T/H

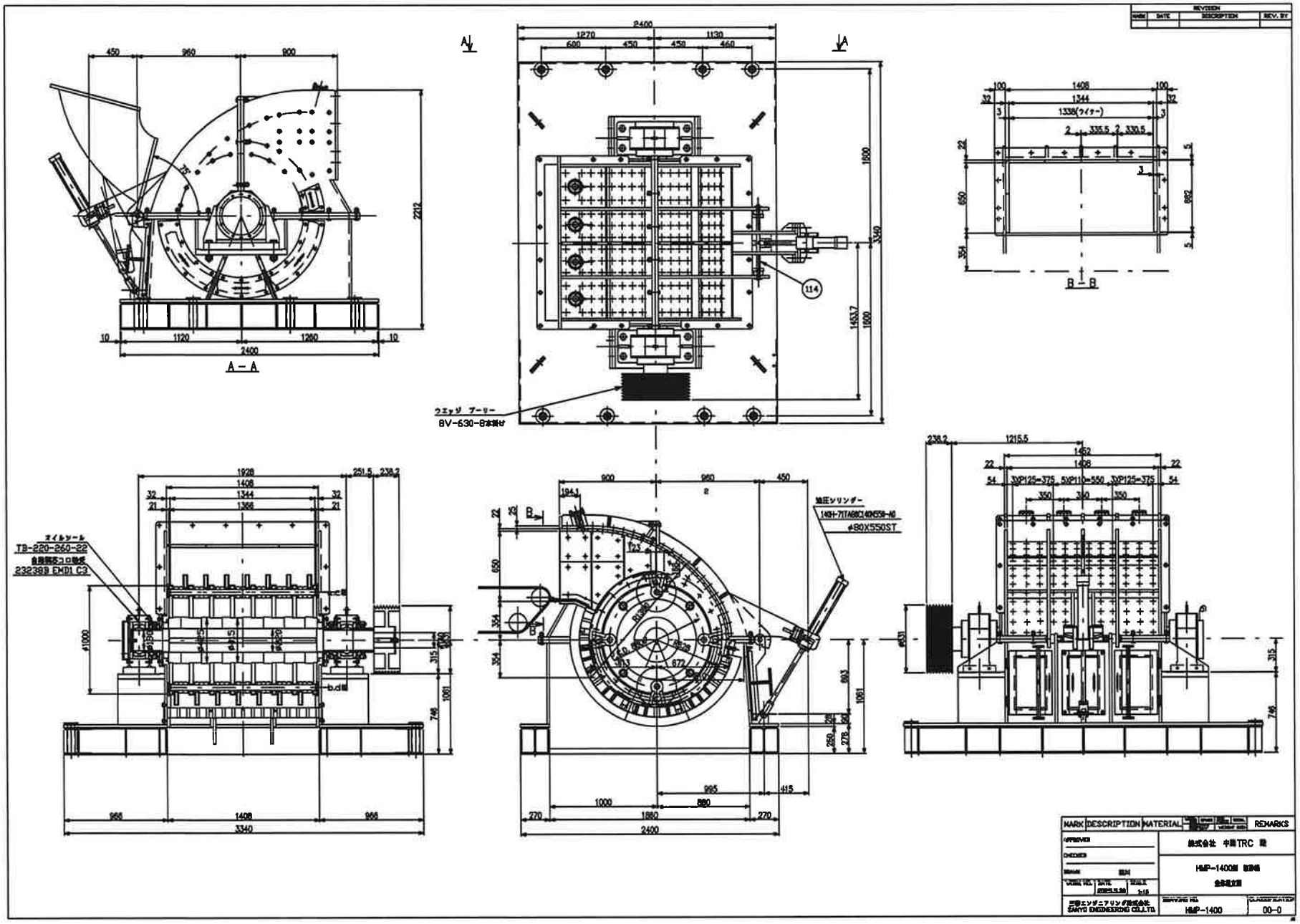
打撃効率説明図



ハンマー打撃効率=166+26=192/360=0.533

ハンマー形状図




A－A
B－B
ウエッジ プーリー
BV-630-8本掛け
TB-220-260-22
23238B EMD1 C3
ø80X550ST
MARK
DESCRIPTION
MATERIAL
REMARKS
HMP-1400
00-0

株式会社 中間 TRC　殿

HMP－1400 型（250ｋｗ）

繊維くず(和畳含む)破砕機 処理能力の計算

令和８ 年 １ 月 14 日

三蓉エンジニアリング株式会社

承　認	調　査	担　当
		梶川

HMP－1400 型（250ｋｗ）　破砕機

機　械　仕　様

型　　式	水平投入下部排出ハンマーミル
名　　称	HMP－1400 型（250ｋｗ）
投　入　口	650ｍｍ×1344ｍｍ
回　転　数	893 min^{-1}
ロ　ー　タ　ー	基板　SS400　　溶接・機械加工仕上 ローター厚　＝　34ｍｍ（両サイドローターは 28mm） ローター枚数　＝　8 枚
ハ　ン　マ　ー	耐摩耗両刃型 装着数　＝　28 本　　回転径　＝　φ1208ｍｍ
ス　ク　リーン	7 分割挿入引き出し架装式ロストルスタイル スクリーンサイズ　＝　約 65×平均 52mm
伝　　導	V ベルト駆動 本　体　側　＝　8V×8 本掛×φ630 モーター側　＝　8V×8 本掛×φ475
軸　　受	自動調芯コロ軸受　　＃23238C3
オイルシール	TB220－260－22
軸　受　給　油	循環給油方式
扉　開　閉	油圧シリンダーによる 油圧シリンダー　　140H8R－71TC80C140N－550－A0
動　　力	250ｋｗ　×　6P　　全閉外扇型 回転速度　＝　1185min^{-1} 始動方式　＝　コンドルファースターターによる

設　計　条　件

1. 機　　種　　ハンマーミル型　破砕機

2. 型　　式　　HMP－1400 型（250ｋｗ）

3. 処　理　物　　繊維くず（和畳含む）

4. 機　械　仕　様

ハンマー刃先径	φ1208 mm
機　械　巾	1344 mm
回　転　数	893 min^{-1}
ハンマー数	28 本
ロストルスクリーンサイズ	約 65×平均 52 ｍｍ
動　　力	250 ｋｗ

5. ハンマー打撃面積

ハンマーの打撃部　長さ	0.106 ｍｍ
ハンマーの打撃巾	0.04 ｍｍ
打　撃　面　積	0.106×0.04 ＝ 0.00424 m^2
打　撃　効　率	0.533

6. ハンマー周速

$$V = \frac{\pi D N}{60} = \frac{\pi \times 1.208 \times 893}{60} = 56.454 m／S$$

V ＝ ハンマー周速　m／S

D ＝ ハンマー回転径　1.208m

N ＝ 回転数　893 min^{-1}

7. 処理能力計算

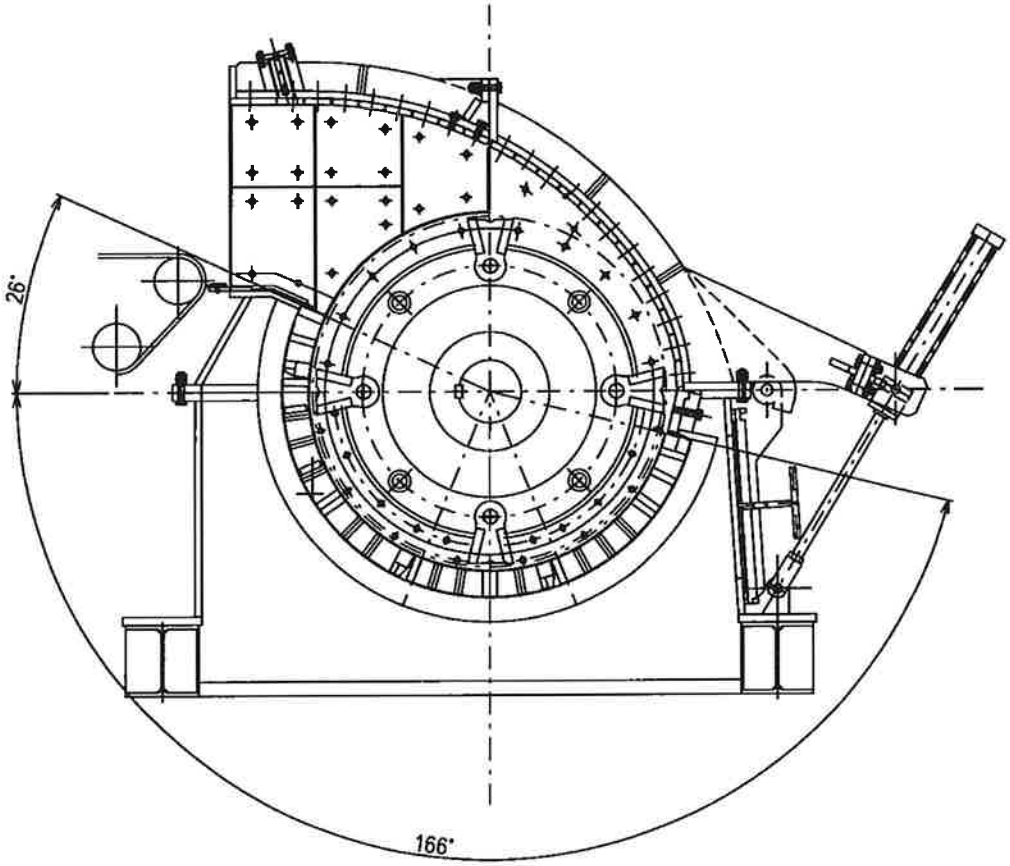
計算式　Q ＝ W×L×N×V× i ×K ×T ×δ

Q	＝	処　理　量	kg／H
W	＝	ハンマー刃先巾	0.04 m
L	＝	ハンマー破砕部　長さ	0.106　m
N	＝	ハンマー本数	28 本
V	＝	ハンマー周速	56.454m／S
i	＝	ハンマー打撃効率（添付図参照）	0.533
K	＝	破砕系数（経験値）	0.00094
		（繊維くず破砕（和畳含む）） （破砕機駆動モーター　＝　250kw時）	
T	＝		3600 秒
δ	＝	繊維くず見掛比重	120kg／㎥

Q ＝ 0.04m×0.106m×28 本×56.454m/S ×0.533×0.00094×3600 S ×120kg/㎥

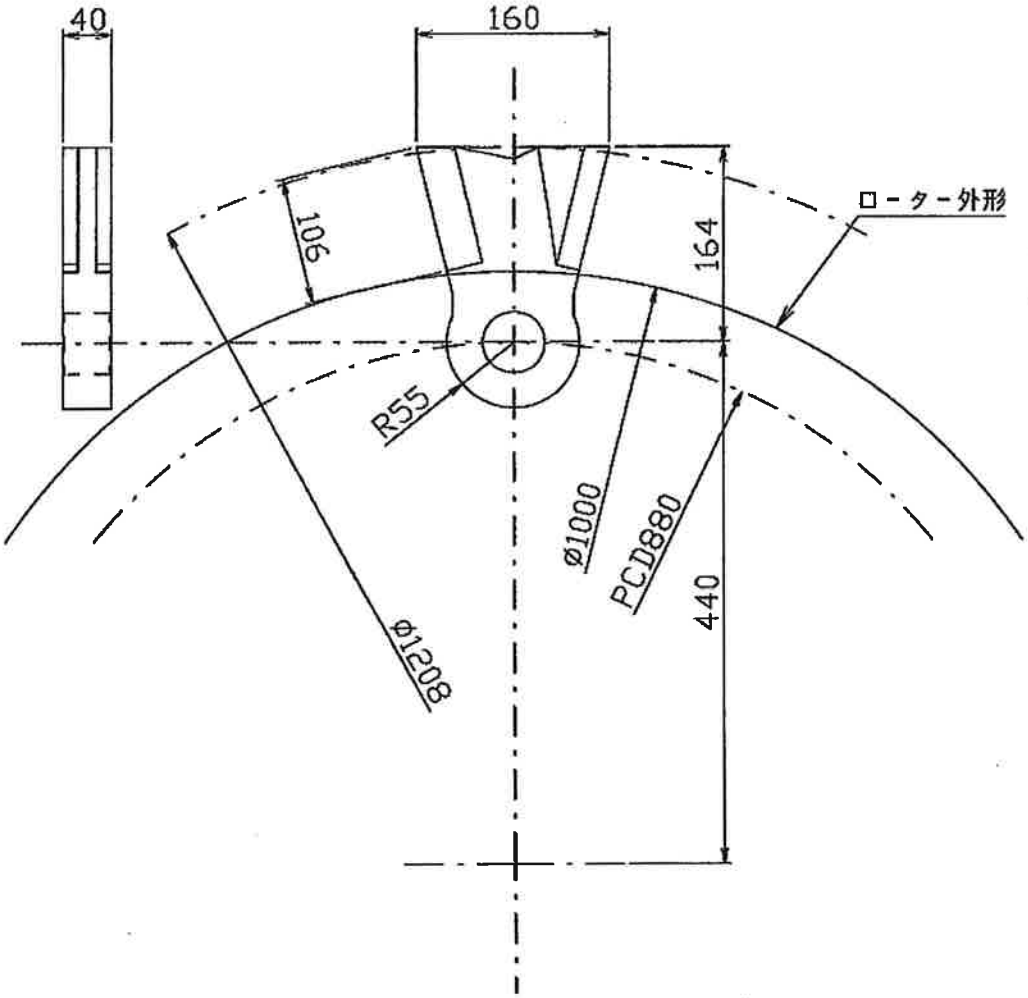
＝ 1450 kg/H

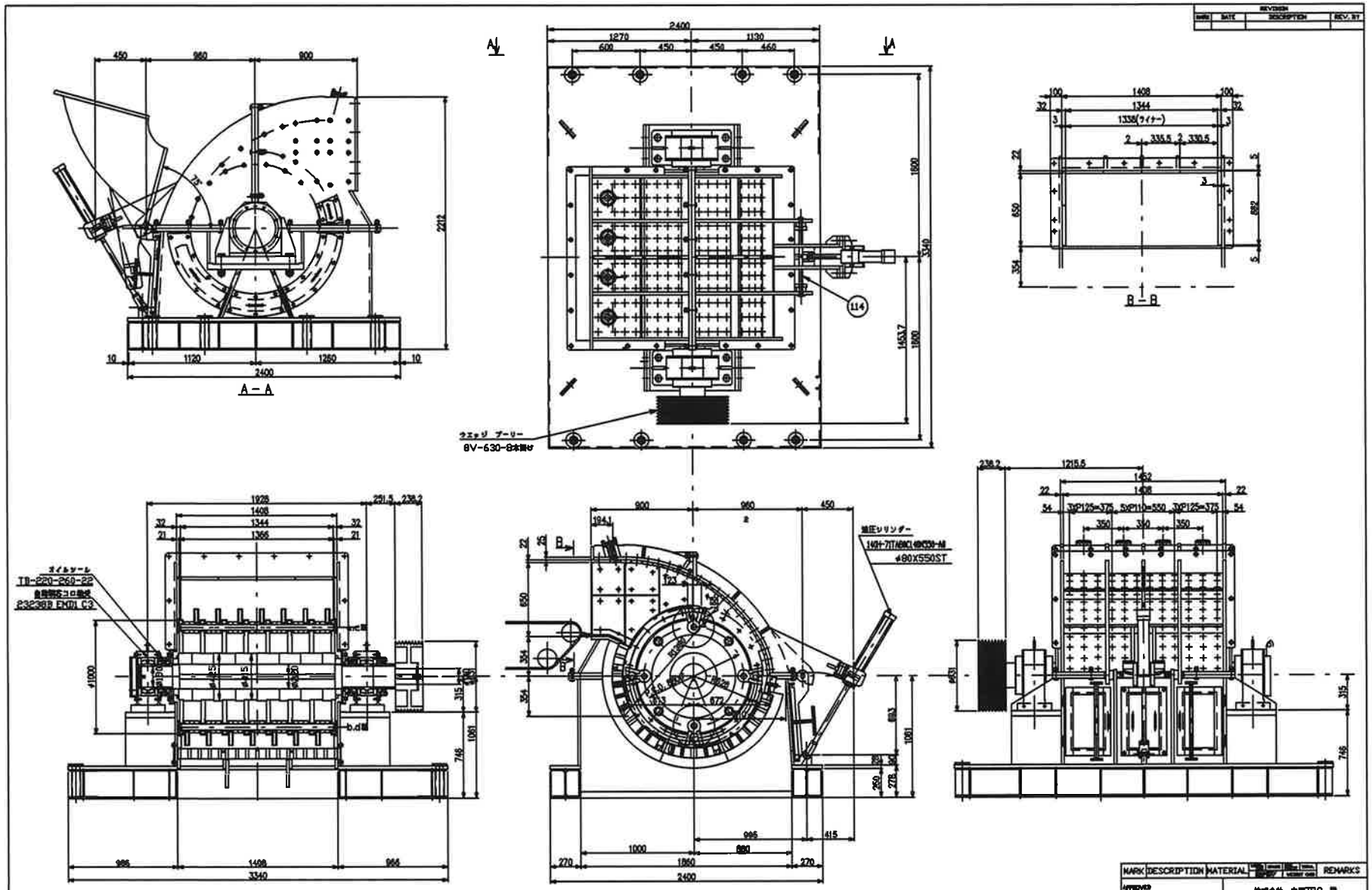
打撃効率説明図



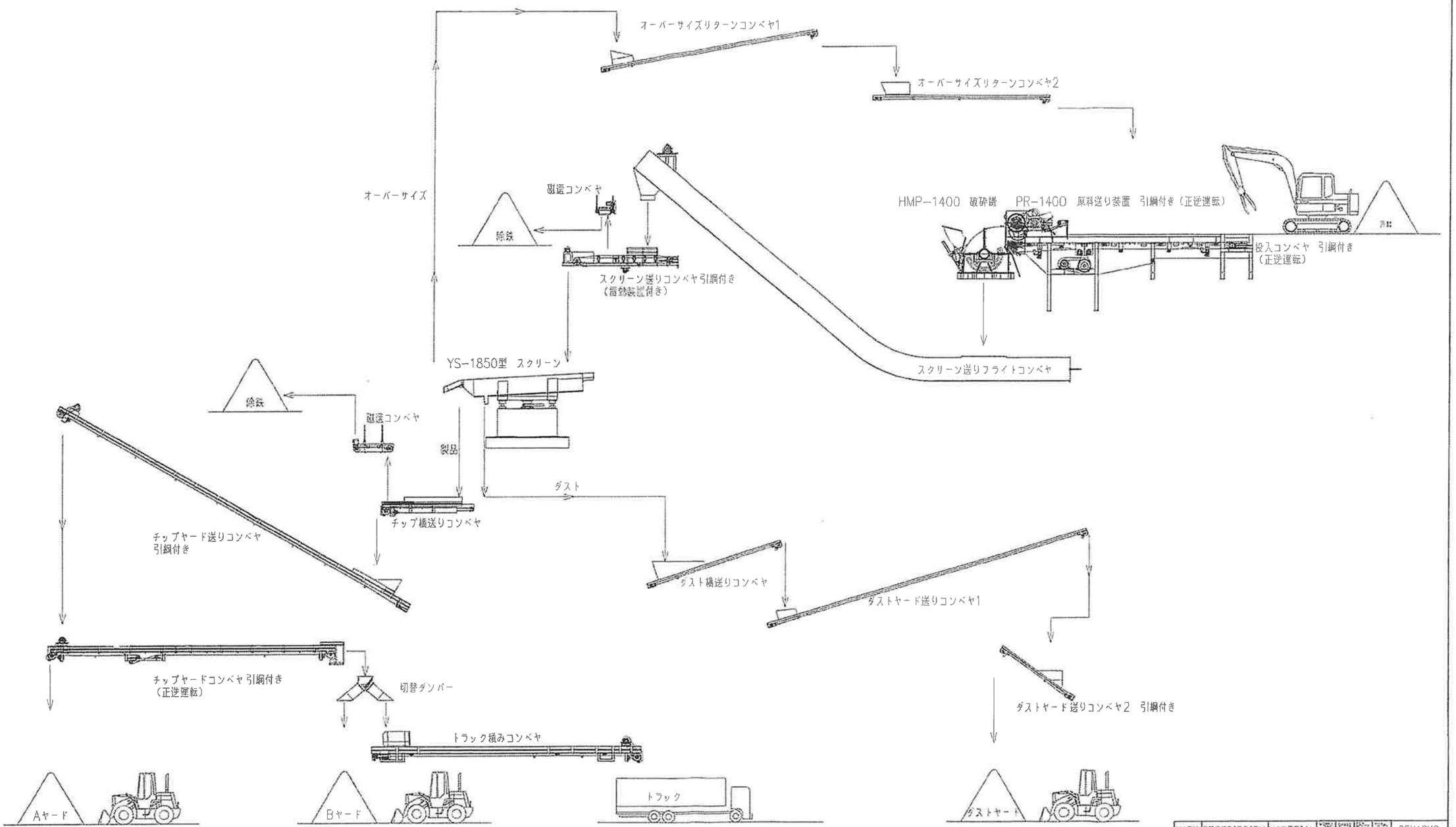
ハンマー打撃効率＝166+26=192/360＝0.533

ハンマー形状図





A－A
B－B
ウエッジ プーリー
8V-630-8本掛け
オイルシール
TB-220-260-22
23238B EMD1 C3
地圧シリンダー
φ80X550ST
REVISION
MARK
DESCRIPTION
MATERIAL
REMARKS
APPROVED
CHECKED
DRAWN
HMP-1400
SANYO ENGINEERING CO.,LTD.
HMP-1400
00-0



REVISION			
MARK	DATE	DESCRIPTION	REV. BY
△	-	-	-

MARK	DESCRIPTION	MATERIAL	WEIGHT	REMARKS

APPROVED	株式会社 中間TRC 殿
CHECKED 武村	
DRAWN 吉方	廃木材処理施設
WORK NO. - / DATE 2025.09.19 / SCALE 1/80	フローシート
三聖エンジニアリング株式会社 SANYO ENGINEERING CO.,LTD.	DRAWING NO WR-025030 / CLASSIFICATION -

株式会社 中間TRC　殿

廃木材処理施設
確定仕様書
(図面番号 WR-025030_00-01_rev02) △2

令和7年8月12日

三蓉エンジニアリング 株式会社
広島県呉市中央1丁目6番9号
センタービル呉駅前 403号室
電話0823-32-5858　FAX0823-32-5859

承認者	担当者
梶川	高本

一般仕様

工事名称	廃木材処理施設
設置場所	三重県津市一志町小山字シャレ子837番18　貴社 工場内
据付条件	屋内　機械基礎上
環境条件	屋内　常温
運転時間	8時間/日×25日/月×12ヶ月/年
支給電源	動力電源：破砕機　　AC3300V×60HZ×3相 ：その他機器　AC220V×60HZ×3相 制御電源：AC100V×60HZ×単相 ※電動機容量合計：AC3300V＝250kW　220V＝54.2kW
塗装	下地処理：三種ケレン相当 防錆塗装：1回　仕上塗装：1回 塗装色： 機械本体等　：2.5G6/3(マンセル記号)(うすい緑色) 安全カバー等：2.5Y8/12(マンセル記号)(黄色)
梱包	裸荷　　電気品にはシート掛け
納入方法	搬入・据付・試運転調整渡し
検収	試運転立会検査終了時(能力条件は別項設備仕様に依る)
技術指導	試運転期間中に運転操作及び保守点検に必要な技術指導を行う。
保障期間	メーカー側設計製作上の責任によるもの、 持ち込み後15ヶ月あるいは試運転後、12ヶ月の期間 但し、消耗品と許容範囲を超えた過剰・過激な原料供給作業及び、異物混入に起因する損傷を除く。
保障範囲	別項(見積範囲・保障範囲の項)記載通り

原料条件	木質系廃材一般
異物処理	異物(ボルト・カスガイ程度より大なる鉄片、アルミ片及び電線ワイヤー、バンド類、布、紐、ゴムホース等)は供給投入前に除去を要す。
供給投入方法	タイマー及びメーターリレーを使用した破砕機負荷追従回路により制御された投入コンベヤ上に適当寸法・重量の材料を定間隔・定容積に展開積付し、その進行を目視監視しつつ破砕機に供給投入する。 但し、バラ物状小木片・樹皮等の原料廃材の供給投入にあたっては破砕機投入口への落ち込み、あるいは押し込みが容易であるように配慮して投入コンベヤ上に展開積付けるものとする。
破砕方式	水平投入･下部排出型スイングハンマー式 1軸破砕機にて破砕処理
異物除去方式	鉄類は、磁選コンベヤ(永久磁石式・自動排出機能付)により吸引除去し、シュートにて排出・除去
製品粒度	スクリーンφ50㎜通過→φ8㎜未通過品
処理能力	12GT/h

1.投入コンベヤ

型式	フラットスタイル　ベルトコンベヤ(正逆運転)
寸法	1200W×9.5m
使用ベルト	耐衝撃・耐カット用コンベヤベルト
	ロックユニコンプロテックス　500N/㎜×6.0㎜×3.0㎜
	横浜ゴム株式会社
プーリー	中間駆動方式
	ドライブプーリー　＝　φ555 ㎜　ﾀﾞﾌﾞﾙﾍﾘｶﾙｺﾞﾑﾗｲﾆﾝｸﾞ
	ヘッドプーリー　＝　φ165.2 ㎜
	テールプーリー　＝　φ267.4 ㎜
	スナップローラー　＝　φ267.4 ㎜
	キャリヤローラー　＝　φ139.8 ㎜
	リターンローラー　＝　φ139.8 ㎜
	受けローラー　＝　φ140 ㎜
速度	10m/min(インバーター変速)
動力	サイクロ減速機　CHHM5-6180DB-AP-165　3.7kW
付属品	ショックリレーによる過負荷防止制御　破砕機負荷追従制御
	搬送速度調整用インバータ・両側引綱スイッチ

1-1.原料送り装置

型式	カウンタバランス式1ロータ型(正逆運転)
名称	PR-1400型
ローター寸法	ローラー外形　φ762㎜×1240㎜(軸径　φ120)
	スパイク　φ25×25L(円周 18ヶ所　98Pにて取付)
支点軸寸法	φ110㎜
軸受	支点部　フランジユニット　UCF-322
	ローラー部　フランジユニット　UKF324+H2324X
駆動チェーン	駆動部　RS140 B型　35T
	ローラー軸　RS140 B型　16T
原料押え高さ	ローターが、投入原料高さに応じ、支点(揺動支点)を
	基準として　揺動し、自動的に高さを調整
原料押え荷重	調整可能なバランスウェイトを設け、適切な原料押え
回転数	4min-1(周速＝10m/min)　インバータ制御
動力	バディボックス減速機　(トルクアーム付属)
	LHYM5-4D175-APY4-207　3.7kW
付属品	投入口引綱スイッチ

2.破砕機

型　　式	上部投入・下部排出型ハンマー式1軸破砕機
名　　称	HMP－1400型
投　入　口	1344㎜W×650㎜高さ
回　転　数	約893min-1
ロ　ー　タ　ー	貴社在庫品支給下さい。
	SS400 溶接・機械加工仕上・外周硬化肉盛溶接・数量＝8枚
ハ　ン　マ　ー	厚さ40㎜　両刃ハンマー　装着数＝28枚
	回転径φ1208㎜
排出スクリーン	7分割・挿入引出架装式
	ロストルスクリーン：平均62㎜(円周方向)×65㎜(機械幅方向)
軸　受　潤　滑	強制潤滑油給油方式
点　検　扉	油圧シリンダによる開閉
伝　動　方　式	Vベルト伝動
付　属　品	防塵用散水装置

2-1.破砕機用モーター

名　　称	三相かご形誘導電動機
容　　量	250kW×6P(3300V×60HZ)　315HA
型　　式	TIKK-FBK13　全閉外扇型　屋内仕様
付　属　品	スライドベース

2-2.破砕機高圧始動盤

型　　式	全閉外扇型　屋内仕様
始　動　方　式	コンドルファ方式

2-3.破砕機軸受潤滑ユニット

型　　式	LU-100-30L型
吐　出　量	3.7～4.5ℓ/min
タ　ン　ク　容　量	30ℓ
動　　力	0.1kW

2-4.破砕機点検扉開閉用油圧ユニット

型　　式	TP20N－B3－B型
吐　出　量	4～12ℓ/min
吐　出　圧	1～7MPa
タンク容量	20ℓ
動　　力	0.75kW
付　属　品	複合機能弁・手動ばね復帰バルブ・マニホールド

2-5.操作制御盤

型　　式	自立型　屋内式
制　　御	破砕機負荷制御回路・自動散水回路・各機器各個運転 起動・停止回路・機器過負荷防止回路・非常停止回路
付　属　品	異常ランプ・非常停止スイッチ・現場操作盤

3.スクリーン送りフライトコンベヤ

型　　式	単列ショートリンクチェーン方式
フライト型式	クシ歯方式
フライト寸法	870H(フライト高さ)×1000W(幅)×432㎜毎(フライトピッチ)
スプロケット寸法	(ヘッド)6T・(テール)6T　(PCDφ279.2㎜)
チェーン型式	ショートリンクチェーン　H2272
チェーン寸法	(サイズ)線径22㎜×ピッチ72㎜×内面幅26㎜×外面幅75㎜ (数量)528×(ピッチ)72㎜×(全長)38016㎜
搬送速度	15m/min
動　　力	バディボックス減速機　LHYM　7.5kW
付　属　品	脚・シュート・ホッパー・側面安全カバー

4.スクリーン送りコンベヤ(振動装置付き)

型　　式	舟底形3点キャリアローラー式ベルトコンベヤ
寸　　法	900W(ベルト幅)×4.0M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　250N/㎜×5.0㎜×1.5㎜
プーリー	ヘッドプーリー　＝　φ318㎜ スナッププーリー　＝　φ112㎜ テールプーリー　＝　φ267㎜
キャリアアイドラ	JC-320-90
搬送速度	60m/min
動　　力	2.2kW-4P 1/20　(振動装置　1.5kW-4P 1/10)
付　属　品	脚・シュート・ホッパー・側面安全カバー

5.磁選コンベヤ

型式	永久磁石吊下型(排出コンベヤ付)
寸法	750W(ベルト幅)×1.41M(機長)
使用ベルト	750W　コンベヤベルト(平ベルト) ゴム桟付
搬送速度	54m/min
動力	1.5kW-4P 1/21
付属品	架台・排出シュート(SUS製)

6.スクリーン

型式	スクリーン
名称	YS-1850型
デッキ寸法	1840㎜×5050㎜(有効寸法)
網目	上段ネットφ50㎜　下段ネットφ8㎜
振幅	φ100㎜
回転数	160rpm
動力	7.5kW-6P
付属	点検作業台

7.オーバーサイズリターンコンベヤ1

型式	平底形ベルトコンベヤ
寸法	450W(ベルト幅)×9.0M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　100N/㎜×1.5㎜×1.5㎜
搬送速度	43m/min
動力	1.5kW(モータープーリー)
プーリー	(ヘッド)φ215㎜・(テール)φ114.3㎜・(リターン)φ60.5㎜
付属品	脚・ホッパー・安全カバー

8.オーバーサイズリターンコンベヤ2

型式	平底形ベルトコンベヤ
寸法	450W(ベルト幅)×7.25M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　100N/㎜×1.5㎜×1.5㎜
搬送速度	43m/min
動力	1.5kW(モータープーリー)
プーリー	(ヘッド)φ215㎜・(テール)φ114.3㎜・(リターン)φ60.5㎜
付属品	脚・シュート・ホッパー・安全カバー

9.ダスト横送りコンベヤ

型　　式	平底形ベルトコンベヤ
寸　　法	350W(ベルト幅)×5.7M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　100N/㎜×1.5㎜×1.5㎜
搬送速度	43m/min
動　　力	1kW(モータープーリー)
プーリー	(ヘッド)φ215㎜・(テール)φ114.3㎜・(リターン)φ60.5㎜
付属品	脚・ホッパー・安全カバー

10.ダストヤード送りコンベヤ1

型　　式	平底形ベルトコンベヤ
寸　　法	350W(ベルト幅)×13.8M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　100N/㎜×1.5㎜×1.5㎜
搬送速度	43m/min
動　　力	1.5kW(モータープーリー)
プーリー	(ヘッド)φ215㎜ゴムラッキング・(テール)φ114.3㎜ (リターン)φ60.5㎜
付属品	脚・ホッパー・安全カバー

11.ダストヤード送りコンベヤ2(中寄ベルト)

型　　式	平底形ベルトコンベヤ
寸　　法	350W(ベルト幅)×3.5M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(中寄ベルト)　100N/㎜×1.5㎜×1.5㎜
搬送速度	43m/min
動　　力	1kW(モータープーリー)
プーリー	(ヘッド)φ215㎜・(テール)φ114.3㎜・(リターン)φ60.5㎜
付属品	脚・ホッパー・安全カバー・吊り金具・点検作業台

12.チップ横送りコンベヤ

型　　式	舟底形3点キャリアローラー式ベルトコンベヤ
寸　　法	500W(ベルト幅)×3.6M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　160N/㎜×3.0㎜×1.5㎜
搬送速度	70.4m/min
動　　力	1.5kW-4P 1/20
プーリー	(ヘッド)φ318㎜・(テール)φ216㎜・(キャリア)φ60.5㎜ (リターン)89㎜
付属品	脚・ホッパー・側面安全カバー

13.磁選コンベヤ

型　　式	永久磁石吊下型(排出コンベヤ付)
寸　　法	500W(ベルト幅)×1.4M(機長)
使用ベルト	750W　コンベヤベルト(平ベルト) ゴム桟付
搬送速度	49m/min
動　　力	0.75kW-4P 1/30
付属品	架台・排出シュート(SUS製)

14.チップヤード送りコンベヤ(中寄ベルト)

型　　式	舟底形3点キャリアローラー式ベルトコンベヤ
寸　　法	600W(ベルト幅)×16.5M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(中寄ベルト)　160N/㎜×3.0㎜×1.5㎜
搬送速度	70m/min
動　　力	5.5kW-4P 1/20
プーリー	(ヘッド)φ318㎜ゴムラッキング・(スナップ・テール)φ165㎜ (キャリア)φ60.5㎜・(リターン)60.5㎜
付属品	脚・シュート・ホッパー・安全カバー

15.チップヤードコンベヤ(正逆運転、切替ダンパー付き)

型　　式	舟底形3点キャリアローラー式ベルトコンベヤ
寸　　法	600W(ベルト幅)×11.7M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　160N/㎜×3.0㎜×1.5㎜
搬送速度	80.9m/min
動　　力	3.7kW-4P 1/20　(切替ダンパー0.4kW-4P)
プーリー	(ヘッド)φ318㎜ゴムラッキング・(テール)φ318㎜ (スナップ・ベント)φ165㎜・(キャリア)φ60.5㎜ (リターン)φ60.5㎜
付属品	脚・切替ダンパー・ホッパー・安全カバー

16.トラック積みコンベヤ

型式	平底形ベルトコンベヤ
寸法	600W(ベルト幅)×11.0M(機長)
使用ベルト	コンベヤベルト(平ベルト)　160N/㎜×3.0㎜×1.5㎜
搬送速度	80.9m/min
動力	3.7kW-4P 1/20
プーリー	(ヘッド)φ318㎜ゴムラッキング・(テール)φ216㎜
	(スナップ)φ165㎜・(キャリア)φ90㎜・(リターン)φ90㎜
付属品	脚・ホッパー・安全カバー

18.粉塵用集塵機

型式	RSV-645SE
風量	−65㎥/min
静圧	−3.92kPa
回転数	3490r.p.m
電動機	全閉外扇形　200V
出力・極数	3.7kW-2P
布材質	ポリエステルT-206
布仕様	フィルター改良型 φ120
シェーキング	手動シェーキングホッパー型
付属品	マウントフランジ
	チリ落しレバー延長
	吸口φ250Nガイド取付

19.点検歩廊階段

方式	エキスパンドメタル・手摺・キックプレート付

20.安全装置

方式	ロープスイッチ　×5ヶ所
	1.投入コンベヤ側面
	1-1.原料送り装置投入口
	4.スクリーン送りコンベヤ(振動装置付き)側面
	14.チップヤード送りコンベヤ(中寄ベルト)側面
	15.チップヤードコンベヤ(正逆運転、切替ダンパー付き)側面

1.見積範囲

1)　各機器の設計・製作
2)　各機器の輸送・搬入及び据付工事
3)　据付用重機費・作業車
4)　操作制御盤から各機器間の二次側電気配線工事
5)　試運転立会調整
6)　運転操作及び補修点検に必要な技術指導及び本設備取扱説明書
7)　本設備に関する土木・建築工事に必要な書類の提示

2.見積範囲外

1)　受電設備
2)　受電設備から操作制御盤の一次側電気配線工事
3)　フリッカー等に依る電圧変動・電波障害等の対応
4)　基礎工事・建家工事・水道工事(破砕機付近まで)
5)　破砕機・スクリーンアンカー及びアンカーゲージ製作、アンカー埋込み工事
6)　グラフト充填、寝巻工事、間仕切り用壁工事
7)　開口部仕舞工事、ヤード内コンベヤサポート架台
8)　電気使用料、オイル関係(グリス・ギヤオイル等)
9)　見積標準仕様機械及びメーカー標準色以外
10)　既設解体・撤去費　一式
11)　磁選機用鉄受箱
12)　破砕機ローター(貴社在庫品使用のため)
13)　安全対策費
14)　粉塵(スクリーン周辺集塵以外)、騒音、振動に対する対策費(防音壁等)
15)　荷造り用資材及び据付時のゴミ等廃棄物の処理
16)　吊りコンベヤのサポート・ブレス関係
17)　関係官庁への設置手続き及び届出
18)　仮置き荷受け作業用重機費
19)　本書記載以外の点検歩廊
20)　本書記載以外の各機器の予備品及び消耗品
21)　その他本書に明記なき事項

3.保障範囲

1)　保障期間内で正常な使用状態において、機械を構成する部品の材質及び製造上の不都合により故障が生じ、弊社がこれを認めた場合は、無償にて修理致します。

4.保障範囲外事項

1)　消耗品及び許容範囲を超えた過剰な使用による損傷

2)　想定以上の異物の混入に起因する損傷

3)　取扱上の過失により発生した故障及び損傷

4)　据付後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷

5)　火災・地震・水害・その他の天災地変による故障及び損傷

6)　弊社設備に起因しない異常電圧による故障及び損傷

7)　不当な修理や改造による故障及び損傷

8)　理由の如何に係わらず本設備が休転する場合の休止期間中の損害

9)　消耗品の交換作業

10)　本仕様書に無きこと

③　圧　縮　機

廃棄物用ラージベール

別紙－2（中間処理施設）　③圧縮機

構造等の計画	構造力学上の安全性	材質等　鋼製　　別紙メーカー資料による。
	処理能力の算定根拠	別紙計算書による。（圧縮機処理能力計算書）
	腐食防止	錆止め塗料塗布
	飛散、流出悪臭の発散防止	飛散、流出：屋内作業であり扉の開閉に注意し、飛散、流出がないようにする。 悪臭：取り扱う廃棄物から臭気の発生はない。
	騒音・振動及び粉じんの発生防止	騒音：屋内で作業を行う。 振動：堅固な基礎（コンクリート厚さ 20 ㎝）上に設置する。 粉塵：
	汚水処理施設の概要フロー図添付	該当なし
	排ガス処理施設の概要フロー図添付	該当なし
	廃棄物の受入設備	位置　別紙保管施設図のとおり 構造　廃棄物の保管場所は屋内ヤード及び屋外ヤード（シート掛け）にて保管 規模　別紙保管面積、保管量一覧表のとおり
	処理後の廃棄物等の保管施設	位置　別紙保管施設図のとおり 構造　廃棄物の保管場所は屋内ヤード及び屋外ヤード（シート掛け）にて保管 規模　別紙保管面積、保管量一覧表のとおり別紙計算書のとおり
	囲い等	外周にフェンス等を設置（既設） （施設配置図のとおり）
	雨水等の流入防止	敷地東側に県道側溝があります。敷地から西側の雨水は流入しません。
	搬入道路	県道一志嬉野線より搬入
	消火設備	㊒　無　（有の場合　その概要） 消火栓、スプリンクラー　（消火施設配置図のとおり）
	車両足洗設備	なし
	駐車設備	㊒　無　（有の場合　その概要） （施設配置図のとおり）
	管理事務所	㊒　無　（有の場合　その概要） （施設配置図のとおり）

別紙－3（中間処理施設）　　③圧縮機

維持管理等の計画	作業方法	作業人数　　2人 作業時間　　8：00～19：00
	受入時の廃棄物の性状の分析・計量方法	性状の分析：　目視による性状の確認、マニフェスト確認 計量：事務所前計量機で行う。 （施設配置図のとおり）
	異常事態時の措置	異常事態時には即運転を停止し、関係機関に連絡するとともに、現場で適切な措置を講じる。 （別添－緊急連絡網のとおり）
	飛散・流出悪臭の防止	方法　日常の清掃を励行することにより、飛散流出を防止する。 　　扉の開閉に細心の注意を払う。 回数　清掃は毎日終業時
	火災発生防止	㊒　無　（有の場合　その概要） 消火栓、スプリンクラー　　（消防施設配置図のとおり）
	衛生害虫等の発生防止	発生が予測されないが、発生時には薬剤散布を行う。
	騒音・振動 粉じんの防止	騒音・振動： 　日常点検、定期点検を励行する。 　日常点検等により、異常音、振動等が発生した場合には一旦作業を中止し、原因を究明して、対策を講じたうえ、作業を開始する。 粉塵：作業中の扉の開閉は極力しないように注意を払う。
	定期的点検 機能検査	方法　メーカーによる点検、作業員による日常点検 回数　メーカー点検：2回／年　、日常点検は始業時
	点検、検査の記録及び保存	保存　　3年間保存

別紙－4（中間処理施設）　③圧縮機

	その他、施設の維持管理に関する計画	
	騒音・振動	機械の日常・定期点検を励行し、作業についても注意を払うほか、敷地境界において、騒音：60ｄＢ、振動：65ｄＢを遵守します。
	飛散	日常の清掃を励行することにより、飛散流出を防止する。 作業中の扉の開閉は極力しないように注意を払う。
	場内雨水排水	雨水は一旦調整池に入り、水路に放流。調整池に溜まった泥、浮遊物はそこで除去する。

株式会社 中間ＴＲＣ　殿

処 理 能 力 計 算 書

機械名　　廃棄物用ラージベール

型　式　　ＬＢＷ－１８１０－１５０Ｃ　型

２０２５年７月

渡辺鉄工株式會社

本社・工場　〒839-0841 福岡県久留米市御井旗崎二丁目25番25号　TEL(0942)43-9111(代)・FAX(0942)43-7521
東京営業所　〒333-0823 埼玉県川口市大字石神６９５　TEL(048)290-4851　・FAX(048)290-4852
名古屋営業所　〒452-0801 愛知県名古屋市西区清里町１３０番地　TEL(052)505-0411　・FAX(052)505-0413
大阪営業所　〒570-0016 大阪府守口市大日東町27の７　TEL(06)6902-2338　・FAX(06)6902-7839

（１）処理能力

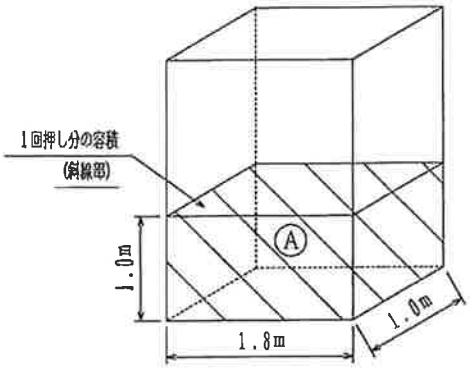
１．紙くず

・Ａ部における原料みかけ比重を０．３０t/㎥とすると

紙くずの１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×０．３０＝０．５４(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５mでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×１．０＝１．５(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

１．５÷０．５４≒２．８(回)

∴３回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(１２．８＋３０)sec×２＋(２６．９＋３０)sec×１回＝１４２．５(sec)

自動端繰返し工程タイム　結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷１４２．５≒２５．３(本)

・１時間当たりの処理能力は

０．５４×３回×２５．３≒４１．０(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

４１．０(ton/h)×８＝３２８．０(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

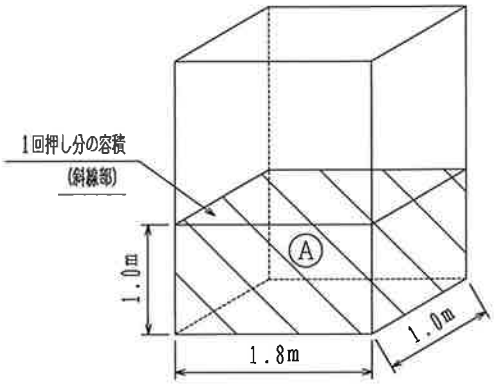
２．廃プラスチック類

・Ａ部における原料みかけ比重を０．３５t/㎥とすると

廃プラスチック類の１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×０．３５＝０．６３(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５ｍでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×１．０＝１．５(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

１．５÷０．６３≒２．４(回)

∴２回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(１２．８＋３０)sec×１回＋(２６．９＋３０)sec×１回＝９９．７(sec)

自動端繰返し工程タイム　結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷９９．７≒３６．１(本)

・１時間当たりの処理能力は

０．６３×２回×３６．１≒４５．５(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

４５．５(ton/h)×８＝３６４．０(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

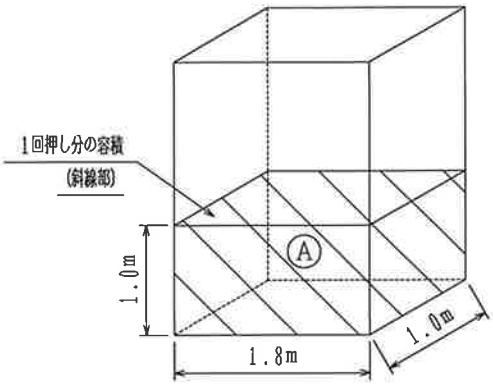
３．木くず

・Ａ部における原料みかけ比重を０．５５t/㎥とすると

木くずの１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×０．５５＝０．９９(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５ｍでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×１．５＝２．２５(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

２．２５÷０．９９≒２．３(回)

∴２回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(１２．８＋３０)sec×１回＋(２６．９＋３０)sec×１回＝９９．７(sec)

自動端繰返し工程タイム　結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷９９．７≒３６．１(本)

・１時間当たりの処理能力は

０．９９×２回×３６．１≒７１．５(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

７１．５(ton/h)×８＝５７２．０(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

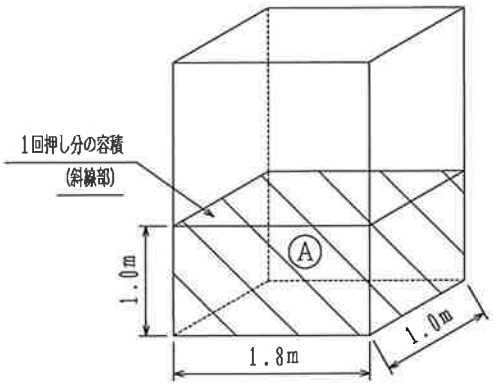
４．繊維くず

・Ａ部における原料みかけ比重を０．１２t/㎥とすると

繊維くずの１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×０．１２＝０．２１６(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５ｍでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×０．５＝０．７５(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

０．７５÷０．２１６≒３．５(回)

∴４回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(１２．８＋３０)sec×３回＋(２６．９＋３０)sec×１回＝１８５．３(sec)

自動端繰返し工程タイム　結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷１８５．３≒１９．４(本)

・１時間当たりの処理能力は

０．２１６×４回×１９．４≒１６．８(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

１６．８(ton/h)×８＝１３４．４(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

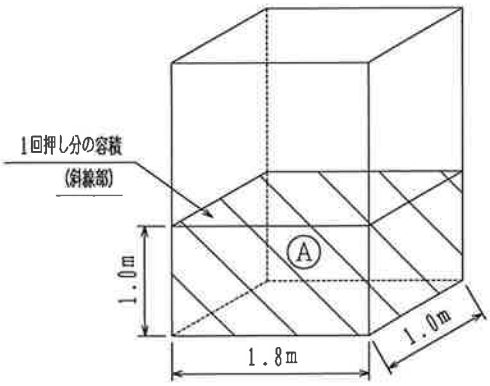
５．金属くず

・Ａ部における原料みかけ比重を１．１３t/㎥とすると

金属くずの１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×１．１３＝２．０３４(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５ｍでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×２．０＝３．０(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

３．０÷２．０３４≒１．５(回)

∴２回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(１２．８＋３０)sec×１回＋(２６．９＋３０)sec×１回＝９９．７(sec)

自動端繰返し工程タイム　結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷９９．７≒３６．１(本)

・１時間当たりの処理能力は

２．０３４×２回×３６．１≒１４６．９(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

１４６．９(ton/h)×８＝１１７５．２(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

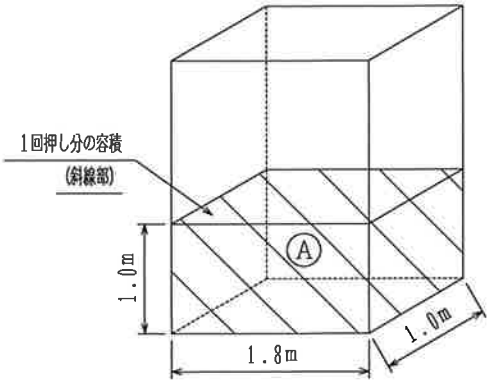
６．ゴムくず

・Ａ部における原料みかけ比重を０．５２t/㎥とすると

ゴムくずの１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×０．５２＝０．９３６(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５ｍでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×１．５＝２．２５(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

２．２５÷０．９３６≒２．４(回)

∴２回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(１２．８＋３０)sec×１回＋(２６．９＋３０)sec×１回＝９９．７(sec)

自動端繰返し工程タイム　結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷９９．７≒３６．１(本)

・１時間当たりの処理能力は

０．９３６×２回×３６．１≒６７．６(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

６７．６(ton/h)×８＝５４０．８(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

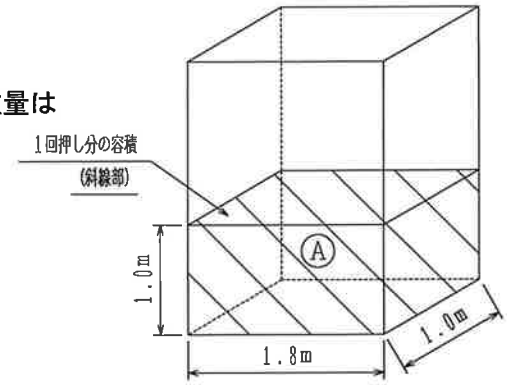
７．ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

・Ａ部における原料みかけ比重を１．０t/㎥とすると

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずの１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×１．０＝１．８(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５ｍでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×２．０＝３．０(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

３．０÷１．８≒１．７(回)

∴２回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(１２．８＋３０)sec×１回＋(２６．９＋３０)sec×１回＝９９．７(sec)

自動端繰返し工程タイム　結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷９９．７≒３６．１(本)

・１時間当たりの処理能力は

１．８×２回×３６．１≒１３０．０(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

１３０．０(ton/h)×８＝１０４０．０(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

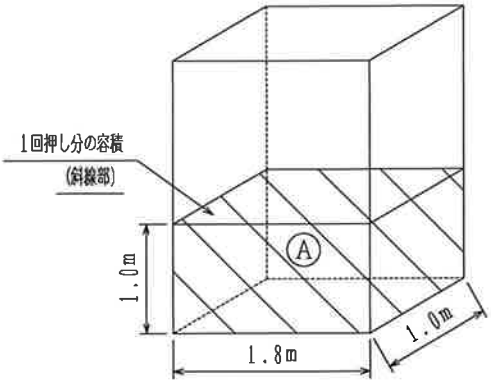
８．がれき類

・Ａ部における原料みかけ比重を１．４８t/㎥とすると

がれき類の１回押し重量は

１．０×１．０×１．８×１．４８＝２．６６４(ton)

ケース寸法(m)　原料みかけ比重(t/㎥)



・製品長さを１．５ｍでつくるとすれば

１個の製品重量は

１．０×１．０×１．５×２．０＝３．０(ton)

製品寸法(m)　製品みかけ比重(t/㎥)

・製品１個の押し回数は

３．０÷２．６６４≒１．１(回)

∴１回押しとする。

・製品１個の合計サイクルタイムは、重機による投入時間を３０秒と仮定して

(２６．９＋３０)sec×１回＝５６．９(sec)

結束工程タイム

・１時間当たりのプレス本数は

３６００÷５６．９≒６３．３(本)

・１時間当たりの処理能力は

２．６６４×１回×６３．３≒１６８．６(ton/h)

・１日当たりの処理能力は８時間/日として

１６８．６(ton/h)×８＝１３４８．８(ton/日)

＜注意事項＞

本計算書は，重機等による投入時間が３０秒で行われたものと仮定しております。

原料投入時間が３０秒以上要する場合の処理能力は，計算値以下となります。

御注意下さい。

以上の結果，各原料の処理能力は次のようになります。

・紙くず	約　４１．０	(ton/h)
	約　３２８．０	(ton/日)
・廃プラスチック類	約　４５．５	(ton/h)
	約　３６４．０	(ton/日)
・木くず	約　７１．５	(ton/h)
	約　５７２．０	(ton/日)
・繊維くず	約　１６．８	(ton/h)
	約　１３４．４	(ton/日)
・金属くず	約　１４６．９	(ton/h)
	約１１７５．２	(ton/日)
・ゴムくず	約　６７．６	(ton/h)
	約　５４０．８	(ton/日)
・ガラスくず・コンクリートくず	約　１３０．０	(ton/h)
及び陶磁器くず	約１０４０．０	(ton/日)
・がれき類	約　１６８．６	(ton/h)
	約１３４８．８	(ton/日)

以上

株式会社 中間TRC 殿　廃棄物用ラージベール 能力計算書

LBW−1810−150C 型　　理論動作時間計算書

油圧シリンダ ＼ 行程		自動端繰返し行程 ① メイン前進			② メイン圧抜	③ メイン後進	④ メイン後進減速	合計	結束行程 ① メイン前進			② インサータ前進	③ 結束機前進	④ カッタ前進	⑤ インサータ後進	⑥ カッタ再前進	⑦ 結束機1回転	⑧ カッタ再前進	⑨ 結束機回転	⑨ インサータ後進	⑩ カッタ後進	⑪ メイン圧抜	⑫ メイン後進	⑬ メイン後進減速	⑭ 結束機後進	合計
メインシリンダ φ250 ×φ180 ×2500 st	前進 490.9	1600急動	550	250	2400	2250	150		1600急動	550	350	2500											2250	150		
	後進 236.4																									
インサータシリンダ φ80 ×φ45 ×1450 st	前進 34.36											1450		1450	200					1250						
	後進 50.27																									
カッタシリンダ φ80 ×φ45 ×100 st	前進 50.27													30		20		50		100	100					
	後進 34.36																									
																			結束回転 正転 5回 5.0 逆転 1回 1.0							
結束機反転シリンダ φ63 ×φ35.5 ×250 st	前進 31.17												250	250											250	
	後進 21.27																									
理論動作時間(sec)		2.6	1.7	2.8	1.5	3.4	0.8	12.8	2.6	1.7	4.0	3.5	0.5	0.1	0.7	0.1	1.0	0.2	6.0		0.2	1.5	3.6	0.8	0.4	28.9
ポンプ	高圧	■	■	■		■	■		■	■	■					■		■	■	■	■		■	■	■	
	低圧	■	■			■			■	■													■			
ポンプ吐出量合計(L/sec)		15.47	15.47	4.32		15.47	4.32		15.47	15.47	4.32	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44		1.44	1.44	1.44	1.44		15.47	4.32	1.44	

油圧ポンプ計算書(150HP 60Hz)

モータ:　37 kW 6P(全閉)〜3台(1170rpm)

油圧ポンプ:　T6CY−025

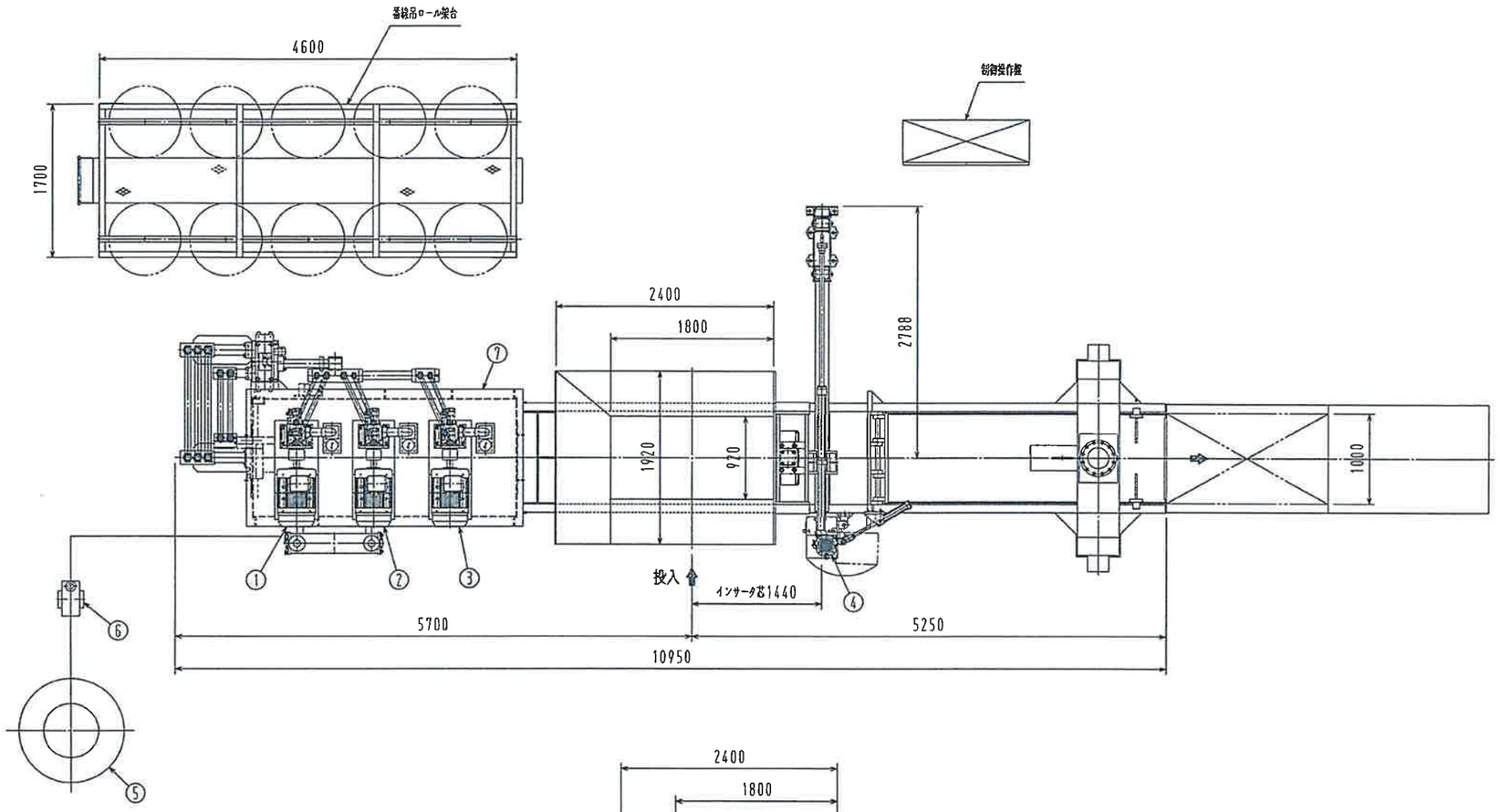
油圧ポンプ:　T6DY−061

$$※差動速度 = \frac{15.47 \times 1000}{\pi/4 \times 18 \times 18} = 60.79(cm/sec)$$

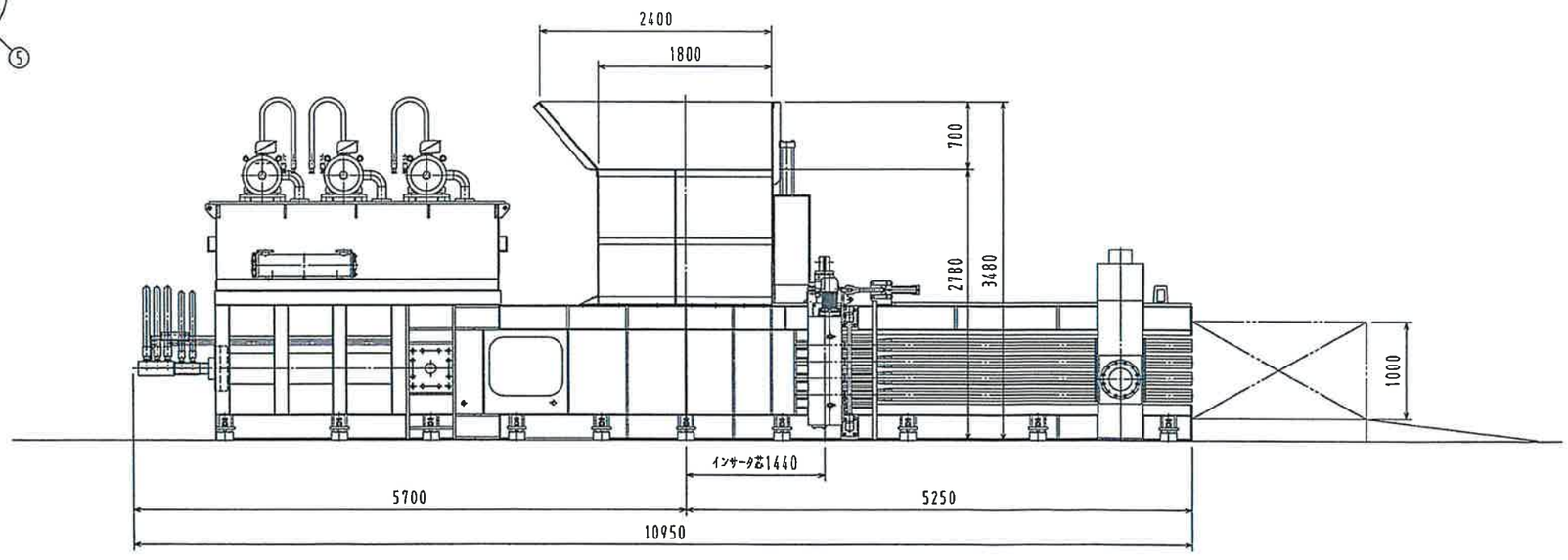
			容量 CC/rev	低圧 7MPa(70kgf/cm²)						高圧 21MPa(210kgf/cm²)		
37kW ×3台	高圧	T6CY−025	79.3	90.6L/min	11.7 kW	38.5 kW				86.3L/min	33.4 kW	33.4 kW
	低圧	T6DY−061	190.5	218.7L/min	26.8 kW							
吐出量(L/min)				927.9						258.9		
吐出量(L/sec)				15.47						4.32		
所要動力				115.5 kW						100.2 kW		
モータ動力に対するオーバーロード				104.1%						90.3%		

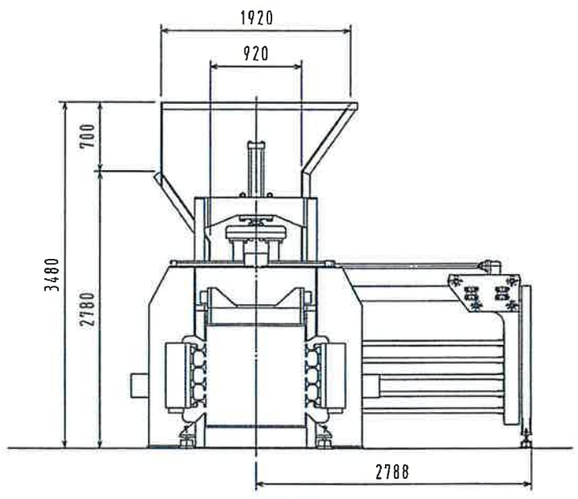
遠刃鉄工株式会社

A3



仕　様	
型　式	LBW-1810-150C　型
処 理 物	一般廃棄物（廃プラ，廃ビニール等）
製品寸法	1000（幅）×1000（高）×1000~2000（長）
製品重量	400~800kg（プレス比重0.4の時）
結束方式	自動結束φ4.0なまし鉄線横5本掛
電動機合計	114.425kW（153.3HP）
1. 1号油圧ポンプ	37 kW 6P
2. 2号油圧ポンプ	37 kW 6P
3. 3号油圧ポンプ	37 kW 6P
4. 結束機	1.5 kW 4P
5. クーリングタワー	0.4 kW 6P
6. 循環水ポンプ	1.5 kW 2P
7. ドレーンポンプ	0.025kW 4P





図面来歴		承認	検図	設計	製図	日付	2019・1・31	名称	廃棄物用ラージベール
△		笠			石 2019-1-31 橋	尺度	1/60		組立図（左出し）
△									
△									
△									

納入先	株式会社 中間TRC 殿		
型式	LBW-1810-150C	図番	2019M0131
Watanabe 渡辺鉄工株式会社			

株式会社 中間ＴＲＣ　殿

機　械　仕　様　書

機械名　　廃棄物用ラージベール

型　式　　ＬＢＷ－１８１０－１５０Ｃ　型

２０２５年７月

渡辺鉄工株式會社

本社・工場　〒839-0841 福岡県久留米市御井旗崎二丁目25番25号　TEL(0942)43-9111(代)・FAX(0942)43-7521
東京営業所　〒333-0823 埼玉県川口市大字石神６９５　TEL(048)290-4851　・FAX(048)290-4852
名古屋営業所　〒452-0801 愛知県名古屋市西区清里町１３０番地　TEL(052)505-0411　・FAX(052)505-0413
大阪営業所　〒570-0016 大阪府守口市大日東町27の７　TEL(06)6902-2338　・FAX(06)6902-7839

１．装置の仕様

（１）プレス梱包機

①プレス機 …… １式

型　　式　　ＬＢＷ－１８１０－１５０Ｃ　型

圧　縮　力　（メインシリンダ出力）　　1030 kN(105tonf)

製品寸法　　1000（巾）×1000（高）×1000～2000　自由（長）mm

製品重量　　ベール比重0.4の時　　400～800 kg

（ベール比重により重量は変化します）

重　　量　（プレス本体・油圧ユニット含む）　35000 kg

1m～2mで自由設定

②油圧ユニット（60Hz） …… １式

使用圧力　　高　圧　　21 MPa

低　圧　　7 MPa

タンク容量　（入替時油量 2300ℓ）2700ℓ

電　動　機　　37kW　6P×３台　111kW

AC200V　50/60Hz　975/1170 rpm

型　　式　　３相交流全閉外扇形　TKKH3-FCK21E 形（片軸）

メ　ー　カ　　㈱ 東 芝 製

ポ　ン　プ　　T6DCY-061-025-1R01-B1　　３台

メ　ー　カ　　パーカー・ハネフィン日本㈱　製

オイルクーラ　　FF-10008BC-55　　Q=77000 kcal/h

メ　ー　カ　　㈱安井製作所　製

（２）結束機 …… １台

結束方法　　自動結束φ4.0なまし鉄線横５本掛

電　動　機　　1.5kW　4P

型　　式　　GM-DPB　ブレーキ付ギヤドモータ

AC200V　50/60Hz　i=1/15　100/120 rpm

メ　ー　カ　　三菱電機㈱　製

（３）冷却装置

①クーリングタワー …… １台

型　　式	SBC-20ES
冷却能力	20 トン
冷却熱量	78000 kcal
処理水量	260 ℓ/min
電動機	0.4 kW　6P
	AC200V　50/60Hz　　1000/1200 rpm
メーカ	㈱荏原シンワ　製

②循環水ポンプ …… １台

型　　式	50SCD　61.5B
口　　径	50 mm
全揚程	17.5 m
吐出水量	195 ℓ/min
電動機	1.5kW　2P
	AC200V　60Hz　　3460 rpm
メーカ	㈱荏原製作所　製

（４）電装品

制御操作盤 …… １面

２．塗装色

機械本体	Ｒ３７－５５０（グリーン）（標準色）
制御操作盤	５Ｙ－７／１（ライトベージュ）

保管場所

保管面積・保管量一覧

木くず破砕機　　ＨＭＰ-1400

名　称	品　目	保管面積 ㎡	保管容量 ㎥	保管高さ m	備考	図面番号
破砕前①	木くず	176.00	387.73	2.50	屋内保管	保-1
破砕前②	木くず	230.00	500.91	2.50	屋内保管	保-1
破砕前③	木くず	40.00	71.00	2.50	屋内保管	保-2
破砕後①	木チップ	169.50	453.84	2.50	屋内保管	保-3
破砕後②	木チップ	164.02	438.96	3.00	屋内保管	保-3
破砕後③	おが粉	68.15	126.69	3.00	屋内保管	保-3
計		847.67	1979.13			

保管面積・保管量一覧

がれき類破砕機　　HR1000

名　称	品　目	保管面積 ㎡	保管容量 ㎥	保管高さ m	備考	図面番号
破砕前①	がれき類、ガラスくず等	70.00	77.08	2.50	屋外保管	保-4
破砕前②	がれき類、ガラスくず等	70.00	77.08	2.50	屋外保管	保-4
破砕前③	がれき類、ガラスくず等	30.00	37.50	2.50	屋外保管	保-2
破砕前④	がれき類、ガラスくず等	45.00	56.25	2.50	屋外保管	保-2
破砕前⑤	がれき類、ガラスくず等	34.00	42.50	2.50	屋外保管	保-2
破砕前⑥	がれき類、ガラスくず等	36.00	41.35	2.50	屋外保管	保-4
計		285.00	331.76			

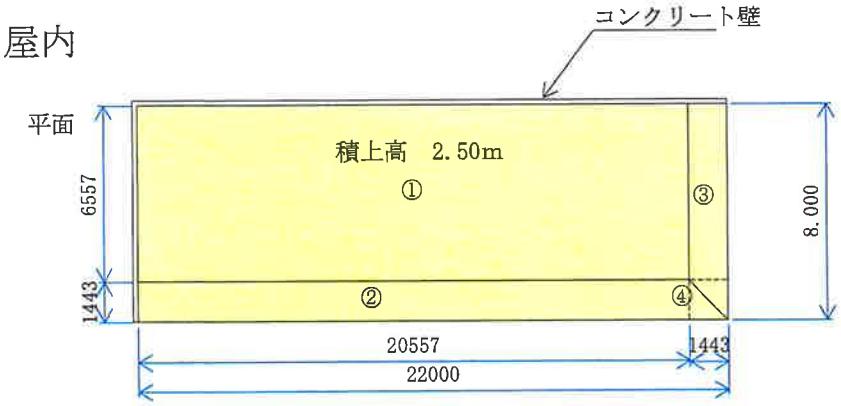
保管面積・保管量一覧

圧縮機　　ラージベール　　LBW-1810-150C型

名　称	品　目	保管面積 ㎡	保管容量 ㎥	保管高さ m	備考	図面番号
展開場所		200.00			屋内	
処理前①	混合廃棄物	586.95	840.00	2.46	屋外保管　シート掛	保-6
処理前②	混合廃棄物	70.20	144.06	2.50	屋内保管	保-5
処理前③	金属くず	24.00	21.09	1.20	屋外保管　コンテナ	保-2
処理前④	ゴムくず	8.00	7.03	1.20	屋外保管　コンテナ	保-2
処理前⑤	紙くず	8.00	7.03	1.20	屋外保管　コンテナ	保-5
処理前⑥	繊維くず	32.00	86.40	2.50	屋内保管	保-5
処理前⑦	ガラスくず等	46.40	105.61	2.50	屋内保管	保-5
処理前⑧	混合廃棄物	28.00	57.46	2.50	屋内保管	保-5
処理前⑨	木くず	25.50	31.88	2.50	屋外保管　シート掛	保-2
処理前⑩	木くず	24.50	30.63	2.50	屋外保管　シート掛	保-2
処理前⑪	木くず	20.00	25.00	2.50	屋外保管　シート掛	保-2
圧縮後①	混合廃棄物	158.53	432.00	3.00	屋内保管	保-6
圧縮後②	混合廃棄物	73.50	178.20	3.00	屋外保管　シート掛	保-6
計		1,105.58	1,966.39			

木くず　破砕前①

屋内



面積　22.00×8.00＝176.00　㎡

容量

① 20.557×6.557×2.500＝336.98㎥

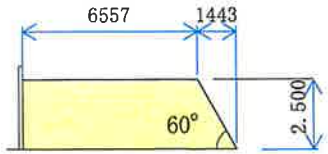
② 1.443×2.500×½×20.557＝37.08㎥

③ 1.443×2.500×½×6.557＝11.83㎥

④ 1.443×1.443×2.500×⅓＝1.74㎥

合計　387.63　㎥

断面



木くず　破砕前②

屋内

面積　10.00×23.00＝230.00　㎡

容量

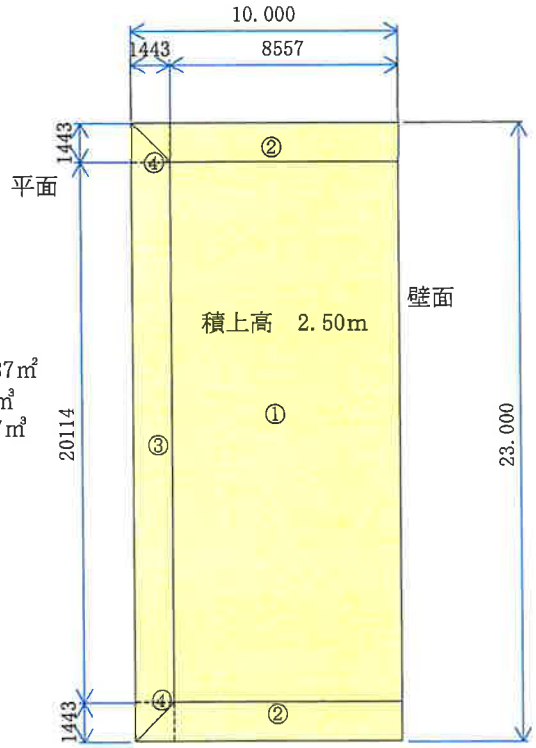
① 8.557×20.114×2.500＝430.29㎥

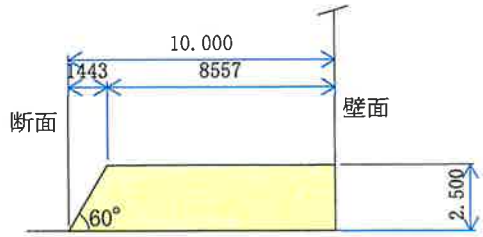
② 1.443×2.500×½×8.557×2＝30.87㎥

③ 1.443×2.500×½×20.114＝36.28㎥

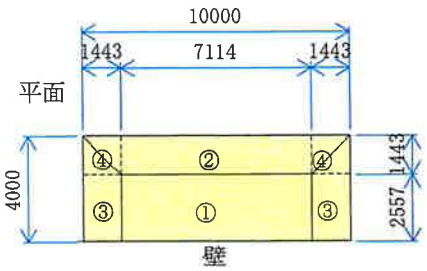
④ 1.443×1.443×2.500×⅓×2＝3.47㎥

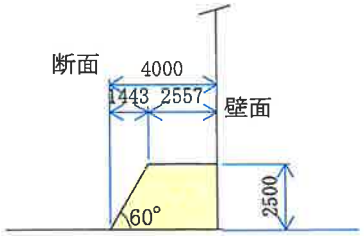
合計　500.91㎥





木くず　破砕前③





面積　10.00×4.00＝40.00　㎡

容量

① 2.557×7.114×2.50＝45.48㎥

② 1.443×2.500×½×2.557×2＝9.22㎥

③ 1.443×2.500×½×7.114＝12.83㎥

④ 1.443×1.443×2.500×⅓×2＝3.47㎥

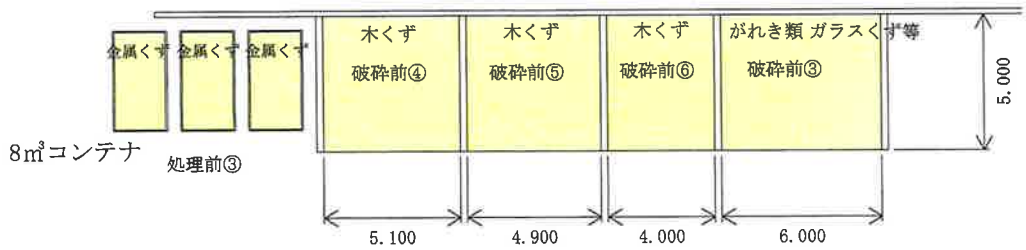
合計　71.00㎥

縮尺　A3　S＝1：200
A4　S＝1：283

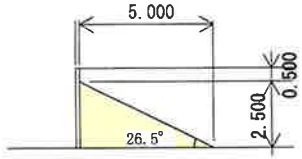
株式会社中間TRC 保管施設図　木くず破砕前①～③		
図面名称		
縮尺	A3 1:200	作成日
作成者	〒510-8101　三重県三重郡朝日町大字縄生718番地 山本行政書士事務所 行政書士　山本　正人 TEL 059-377-2305 FAX 059-377-2314	番号 保-1

屋外保管

金属くず処理前③、木くず破砕前④～⑥、ガラスくず等・がれき類破砕前③



木くず保管場所はシート掛け



断面積
5.000×2.500×½=6.25㎡

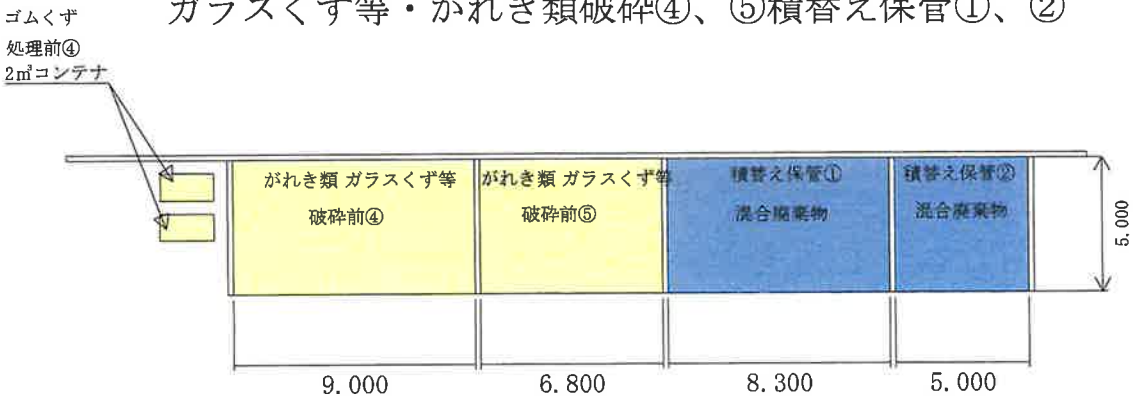
破砕前④
面積　5.10×5.00=25.50　㎡
容量　5.10×6.25=31.88　㎥

破砕前⑤
面積　4.90×5.00=24.50　㎡
容量　4.90×6.25=30.63　㎥

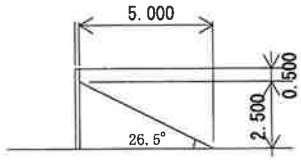
破砕前⑥
面積　4.00×5.00=20.00　㎡
容量　4.00×6.25=25.00　㎥

破砕前③
面積　6.00×5.00=30.00　㎡
容量　6.00×6.25=37.50　㎥

ガラスくず等・がれき類破砕④、⑤積替え保管①、②



混合廃棄物はシート掛け



断面積
5.000×2.500×½=6.25㎡

破砕前④
面積　9.00×5.00=45.00　㎡
容量　9.00×6.25=56.25　㎥

破砕前⑤
面積　6.80×5.00=34.00　㎡
容量　6.80×6.25=42.50　㎥

積替え保管①
面積　8.30×5.00=41.50　㎡
容量　8.30×6.25=51.88　㎥

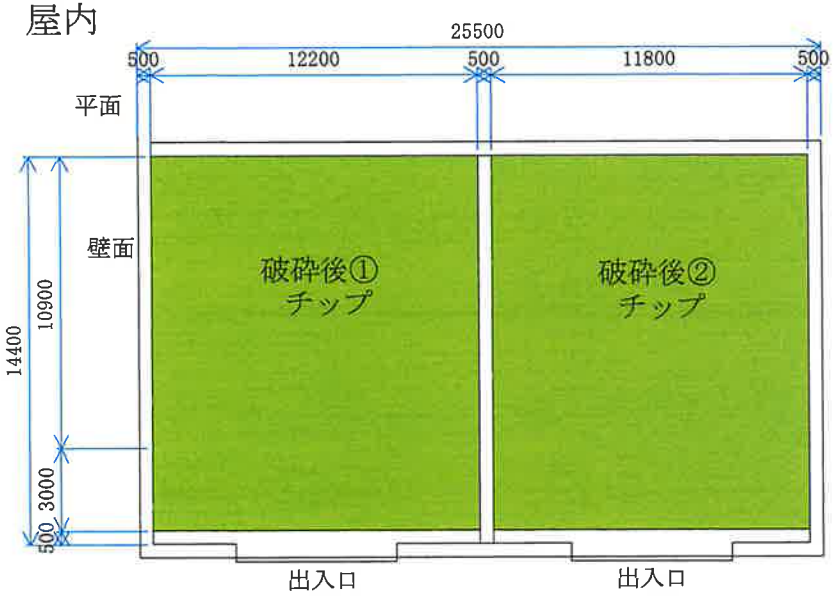
積替え保管②
面積　5.00×5.00=25.00　㎡
容量　5.00×6.25=31.25　㎥

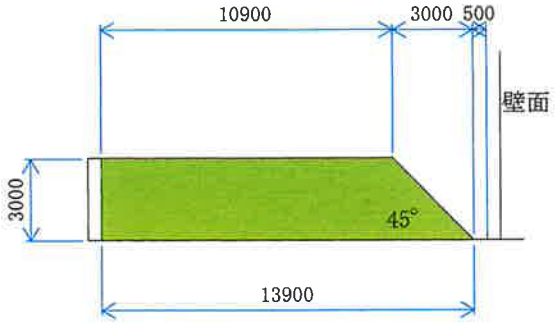
縮尺　A3　1：200
A4　1：283

株式会社中間TRC 屋外保管分がれき類、積替え保管			
図面名称			
縮尺	1:200	作成日	
作成者	〒510-8101　三重県三重郡朝日町大字縄生718番地 山本行政書士事務所 行政書士　山本　正人 TEL 059-377-2305 FAX 059-377-2314		番号 保-2

木くず　破砕後①、②

屋内





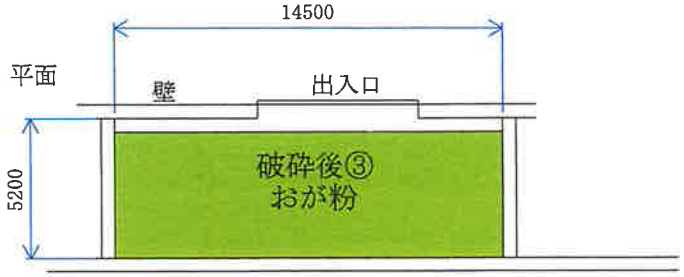
破砕後①

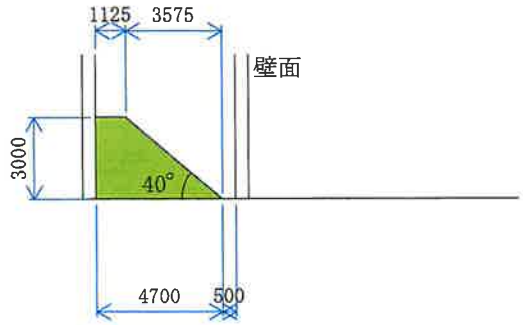
面積　13.90×12.20＝169.58　㎡

容量

(10.90+13.90)×3.00×½×12.20＝453.84　㎥

破砕後③　（おが粉）





破砕後③

面積　4.70×14.50＝68.15　㎡

容量

(1.125+4.70)×3.00×½×14.50＝126.69　㎥

破砕後②

面積　13.90×11.80＝164.02　㎡

容量

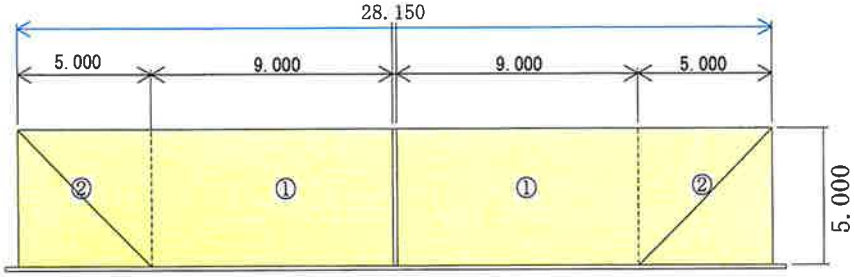
(10.90+13.90)×3.00×½×11.80＝438.96　㎥

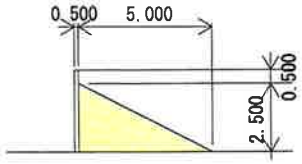
縮尺　A3　S＝1：200
A4　S＝1：283

株式会社中間TRC 保管施設図　木くず破砕後①～③			
図面名称			
縮尺	1:200	作成日	
作成者	〒510-8101　三重県三重郡朝日町大字縄生718番地 山本行政書士事務所 行政書士　山本　正人 TEL 059-377-2305 FAX 059-377-2314	番号	保-3

ガラスくず等・がれき類

屋外　破砕前①　破砕前②





破砕前①

面積　14.00×5.00＝70.00㎡

容量

① 5.000×5.000×2.500×⅓＝20.83㎥

② 5.000×2.500×9.000×½＝56.25㎥

計　77.08　㎥

破砕前②

面積　14.00×5.00＝70.00㎡

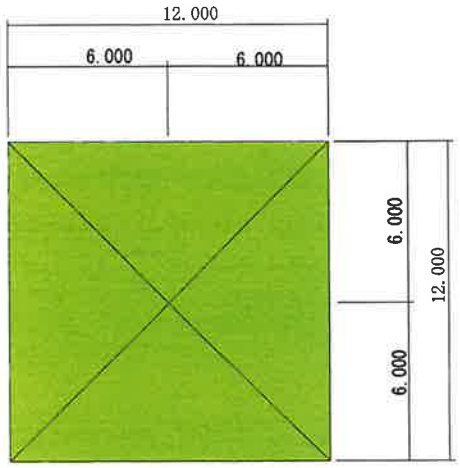
容量

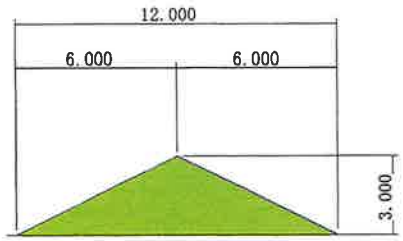
① 5.000×5.000×2.500×⅓＝20.83㎥

② 5.000×2.500×9.000×½＝56.25㎥

計　77.08　㎥

屋外　破砕後①

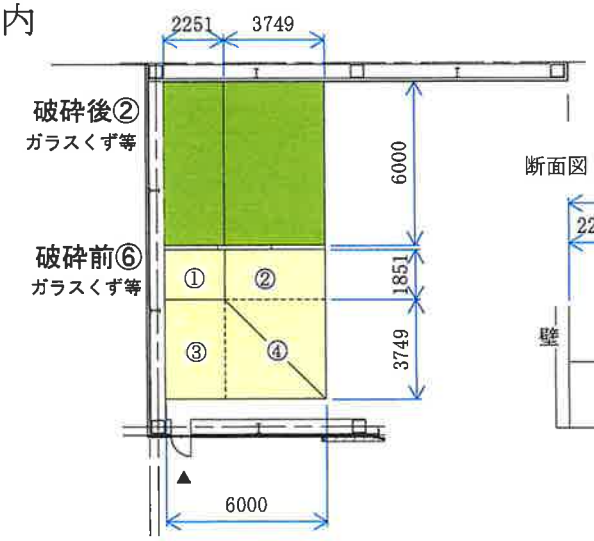


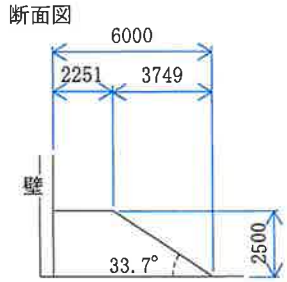


面積　12.000×12.000＝144.00　㎡

容量　12.00×12.00×3.000×⅓＝144.00㎥

屋内　破砕後②　破砕前⑥　ガラスくず等





破砕後②

面積　6.000×6.00＝36.00　㎡

容量　10.314×6.00＝61.88㎥

破砕前⑥

面積　6.000×6.00＝36.00　㎡

容量

① 2.251×1.851×2.500＝10.42㎥

② 3.749×2.50×½×1.851＝8.67㎥

③ 3.749×2.50×½×2.251＝10.55㎥

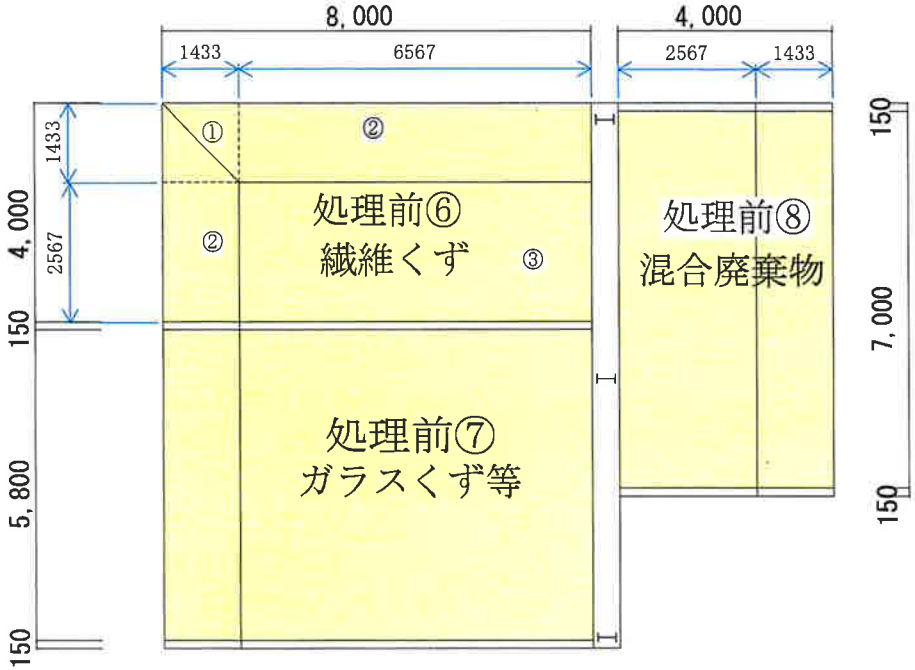
④ 3.749×3.749×2.50×⅓＝11.71㎥

計　41.35　㎥

縮尺　A3　1：200
A4　1：283

株式会社中間TRC 保管施設図　ガラスくず等、がれき類			
図面名称			
縮尺	1:200	作成日	
作成者	〒510-8101　三重県三重郡朝日町大字縄生718番地 山本行政書士事務所 行政書士　山本　正人 TEL 059-377-2305 FAX 059-377-2314		番号 保-4

屋内



処理前⑥

保管面積　4.00×8.00＝32.00㎡

保管容量

① 1.433×1.433×2.50×⅓＝1.71㎥

② 1.433×2.50×½×（2.567+6.567）＝16.36㎥

③ 6.567×2.567×2.50＝42.14㎥

計　60.21㎥

処理前⑦

保管面積　5.80×8.00＝46.40㎡

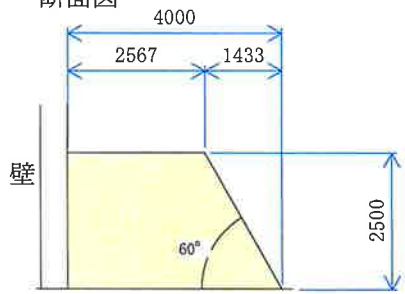
保管容量　（6.567+8.00）×½×2.50×5.80＝105.61㎥

処理前⑧

保管面積　7.00×4.00＝28.00㎡

保管容量　（2.567+4.00）×½×2.50×7.00＝57.46㎥

断面図

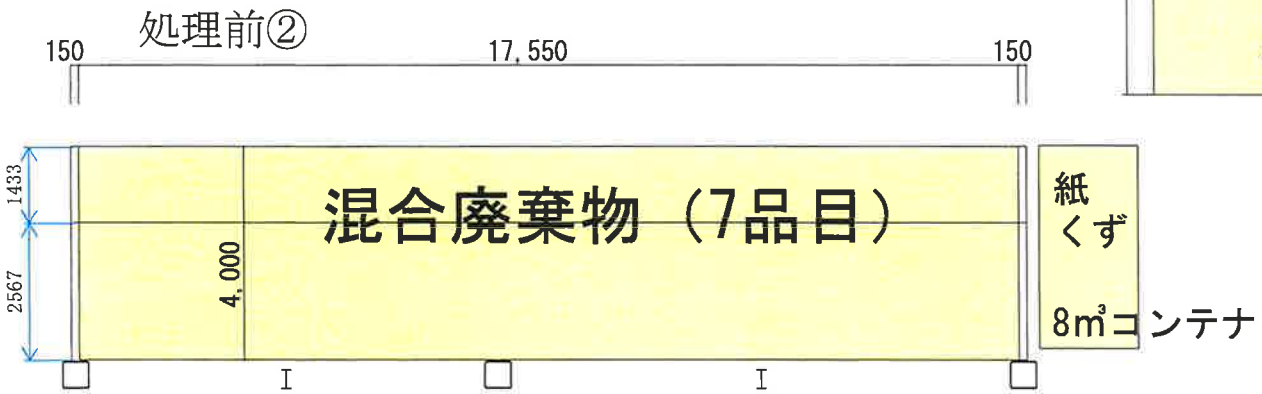


処理前②

面積　17.55×4.00＝70.2㎡

保管容量　（2.567+4.00）×½×2.50×17.55＝144.06　㎥

処理前②

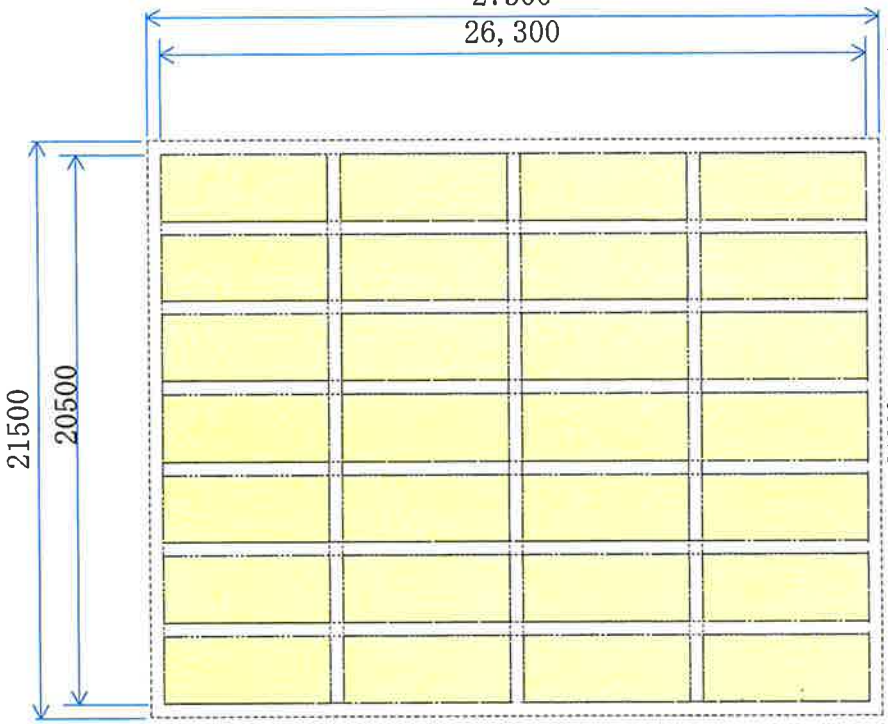


A3　S＝1：200

株式会社中間TRC 保管施設図　圧縮施設			
図面名称			
縮尺	A4　1:283	作成日	
作成者	〒510-8101　三重県三重郡朝日町大字縄生718番地 山本行政書士事務所 行政書士　山本　正人 TEL 059-377-2305 FAX 059-377-2314	番号	保-5

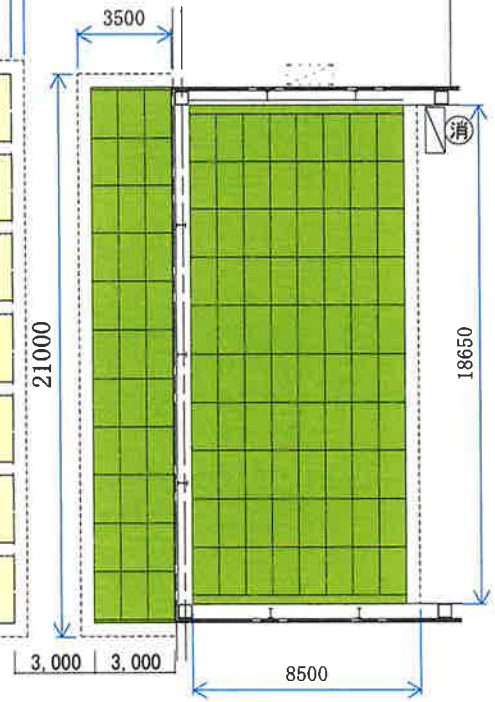
屋外

処理前①　混合廃棄物（7品目）



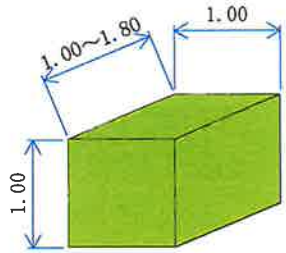
圧縮後⑤
混合廃棄物

圧縮後①
混合廃棄物



屋内

圧縮後の形状



処理前①

8㎥～30㎥コンテナ

保管面積

27.3×21.5＝586.95　㎡

保管容量30㎥コンテナで計算

4列×7列×30＝840　㎥

注：コンテナの置き方等は保管エリア内で変更あり

圧縮後⑤

保管面積

21.0×3.5＝73.5　㎡

保管容量

3列×11列×3段積×1.8＝178.2㎥

圧縮後①

保管面積

18.65×8.5＝158.53　㎡

保管容量

8列×10列×3段×1.8＝432.0　㎥

A3　S＝1：200

株式会社中間TRC 保管施設図　圧縮施設			
図面名称			
縮尺	A4　1:283	作成日	
作成者	〒510-8101　三重県三重郡朝日町大字縄生718番地 山本行政書士事務所 行政書士　山本　正人 TEL 059-377-2305 FAX 059-377-2314	番号	保－6